



未来を拓く地方協奏プラットフォーム

HIRAKU

Home for Innovative Researchers and
Academic Knowledge Users

平成26・27年度(2014・2015年度)

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
(次世代研究者育成プログラム)

未来を拓く地方協奏プラットフォーム 成果報告書

平成28年3月

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業

(次世代研究者育成プログラム)

未来を拓く 地方協奏プラットフォーム

平成 26・27 年度

(2014・2015 年度)

成果報告書

平成 28 年 3 月

目次

1. はじめに	1
2. 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」の概要	2
2-1. 概要	2
2-2. 連携機関	3
2-3. 推進体制	5
2-3-1. 平成 26 年度の推進体制	6
2-3-2. 平成 27 年度の推進体制	7
2-3-3. HIRAKU 運営協議会事務局	8
2-3-4. HIRAKU 運営協議会開催実績	9
2-4. 年次計画（数値目標）	13
2-4-1. コンソーシアム教員の採用人数	13
2-4-2. 長期インターンシップ生の派遣人数	13
3. テニユアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム	14
3-1. コンソーシアム教員の公募・審査・採用実績	14
3-2. コンソーシアム教員の着任状況	16
3-3. コンソーシアム教員を対象とした研修	17
3-3-1. 平成 26 年度	17
3-3-2. 平成 27 年度	17
3-4. コンソーシアム教員の評価	21
3-4-1. 第 1 期（平成 26 年度後期着任）	21
4. イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム	22
4-1. 長期インターンシップ生の募集	22
4-1-1. 第 1 期（平成 26 年度後期）	22
4-1-2. 第 2 期（平成 27 年度前期）	23

4-1-3. 第3期 (平成27年度後期)	24
4-2. 長期インターンシップの派遣実績.....	25
5. 成果報告会, シンポジウム	29
5-1. 第1回成果報告会.....	29
5-2. 第2回成果報告会.....	31
5-3. 国際シンポジウム	33
6. DCやPDが積極的に関与する取組み	35
6-1. Vitae ワークショップ.....	35
6-1-1. トランスファラブルスキルワークショップ	35
6-1-2. Vitae 共同能力養成講座	36
6-1-3. Vitae-HIRAKU ワークショップ	39
6-2. 未来博士3分間コンペティション	40
6-3. 若手研究者シーズ発表会.....	42
6-3-1. 第1回若手研究者シーズ発表会「健康と化学」	42
6-3-2. 第2回若手研究者シーズ発表会「環境とエネルギー」	44
6-3-3. 第3回若手研究者シーズ発表会「計測と分析」	47
6-3-4. 第4回若手研究者シーズ発表会「医療・健康と化学」	50
6-4. ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム.....	53
6-4-1. The 11th Nano Bio Info Chemistry Symposium	53
6-4-2. The 12th Nano Bio Info Chemistry Symposium	54
7. 実践プログラム	55
7-1. 実践プログラムの構成	55
7-2. 実務コアコース (平成26年度)	56
7-2-1. 実務キャリアプログラム	56
7-2-2. 英語コミュニケーションプログラム	56
7-2-3. MOT教育プログラム	57
7-3. イノベーション研究コース (平成26年度)	57

7-3-1. 融合領域研究プログラム	57
7-3-2. 異分野研究支援プログラム.....	57
7-3-3. 企業派遣プログラム	58
7-4. 実務コアコース（平成 27 年度）	58
7-4-1. 実務キャリアプログラム	58
7-4-2. 英語コミュニケーションプログラム	58
7-4-3. MOT 教育プログラム	59
7-5. イノベーション研究コース（平成 27 年度）	59
7-5-1. 融合領域研究プログラム	59
7-5-2. 異分野研究支援プログラム.....	59
7-5-3. 企業派遣プログラム	60
8. コンソーシアム人材セミナー.....	61
9. 若手研究人材の意識啓発を促す取組み	72
9-1. ホームページ.....	72
9-2. 研究者等紹介.....	74
9-2-1. 博士人材インタビュー – TO BE PROFESSIONAL 「D」の飛翔 –.....	74
9-2-2. 教員へのインタビュー – Professional 先生の流儀 –.....	80
9-2-3. 海外の大学，研究機関を経験した博士人材，教員へのインタビュー	85
9-2-4. 若手研究者の研究紹介.....	89
9-2-5. 特集 Career advice –Explore Your Future-.....	92
9-3. 学生むけ小冊子 HIRAKU.....	94
9-4. 学生むけ小冊子 HAKUSHI	96
9-4. 4年手帳.....	97
10. 若手研究人材のキャリアスタート支援.....	98
10-1. 若手研究人材ポートフォリオ HIRAKU-PF.....	98
10-2. 博士キャリア相談室	100
10-3. 日本学術振興会（JSPS）特別研究員説明会.....	101

1 1. 外部評価	102
1 1-1. 外部評価委員会	102
11-1-1. 第1回外部評価委員会	102

1. はじめに

本報告書は、平成 26 年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者育成プログラム）」に採択された「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」の、開始後 2 年間の活動とその成果をまとめたものです。

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」は、広島大学が代表機関、山口大学と徳島大学が共同実施期間として、また、本書で述べるように、多くの連携機関の協力を得て、推進しています。博士課程後期学生を含む若手研究人材の育成を目的とするプラットフォームを共同で構築し、インターンシップや共同研究等の機会をふやしていきます。また、テニュアトラック研究者をコンソーシアムとして共同で公募・選考し、より多くの優秀な若手研究人材を国内外から集め、多様な研究環境と雇用形態を提供しています。さらに、優秀な女性研究者に活躍の場を提供します。これらの取組を、連携して実施しています。

若手研究人材の養成やキャリアスタート支援は、一つの大学だけでできるものではありません。社会全体の問題として、多くの機関が協力して行うものです。本コンソーシアムはそのような考え方を基調として、問題意識を共有している大学や企業等が、組織の壁を越えて、連携し実施しています。

広島大学では、科学技術人材育成費補助金「イノベーション創出若手研究人材養成」に採択された「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」（平成 21～25（2009～2013）年度）の取組により、若手研究人材を社会に輩出する、ということ意識して実施するようになりました。また、科学技術人材育成費補助金「女性研究者養成システム改革加速」に採択された「広大システム改革による女性研究者活躍促進」（平成 22～26（2010～2014）年度）の取組により、女性限定公募と女性研究者支援を実施してきました。「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」は、これら二つの取組を実施してきた経験と蓄積をふまえて、事業全体を設計し、実行しています。

本事業が採択され、開始した平成 26 年 10 月から半年間は、非常に短期間に多くの事項を決定し実行する必要があり、まさに「突貫工事」の様相でした。しかし、多くのみなさまのご協力により、最初の大きな山を無事に越えることができました。開始 2 年目に入ると、だいぶ軌道にのってきた感があります。この事業は、平成 26～33（2014～2021）年度の 8 年間の予定で実施しています。まだまだ始まったばかりです。さらにより良い取組とするためには、多くのみなさまのご協力が必要です。そこで、ここに開始 2 年間の活動と実績をまとめることにいたしました。本事業の活動状況をご覧いただき、ご忌憚のないご意見をいただきたいと考えています。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

平成 28 年 3 月 24 日

広島大学 副学長（大学経営企画担当）

大学院理学研究科教授

相田 美砂子

2. 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」の概要

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」は、平成26年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業(次世代研究者育成プログラム)」に、申請し、採択された。本報告書は、開始後2年間(平成26～27年度)の取組内容と成果をまとめたものである。

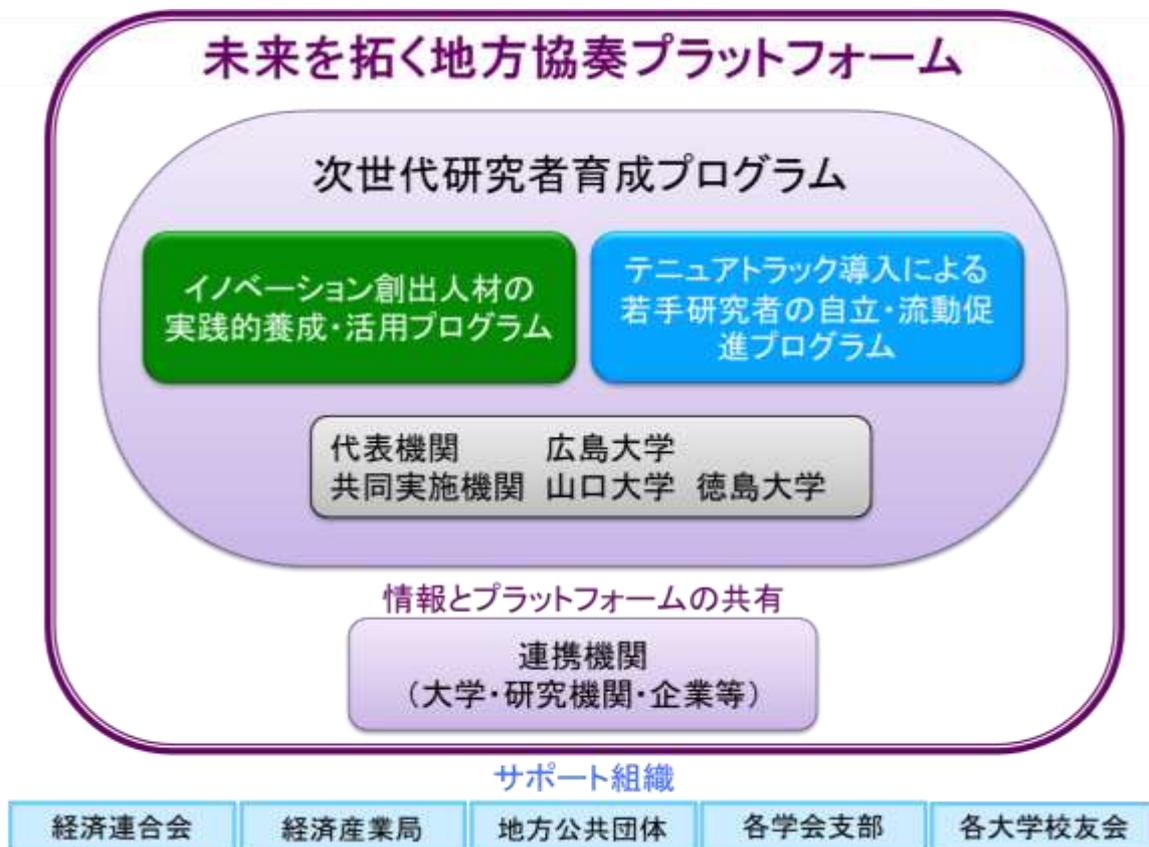
2-1. 概要

コンソーシアムの名称 未来を拓く地方協奏プラットフォーム
代表機関名: 国立大学法人 広島大学
総括責任者名: 広島大学長
共同実施機関名: 国立大学法人 山口大学, 国立大学法人 徳島大学
実施予定期間: 2014(平成26)年度～2021(平成33)年度
取組の概要:

中国四国地方の大学等を中心としたコンソーシアムを構築し、共同でテニュアトラック研究者を公募、選考する。より多くの優秀な若手研究人材を国内外から集める。多様な雇用・流動形態(クロスアポイントメント、ラボローテーション等)の導入により、彼らが異なる知と交わり、ネットワークを構築できるように支援する。女性枠を設定し、女性の活躍促進につなげる。

博士課程後期学生を含む若手研究人材が、地域や国際社会を変革するイノベーターとして自立できるように、彼らの実践的な養成・活用を可能とするプラットフォームを共同で構築する。トランスフェラブルスキル養成に必要なリソースの共有を図り、シーズ・ニーズのマッチングにより、インターンシップ、就職、共同研究等の機会を増やす。

若手研究人材の養成・活用を通じて、コンソーシアム内外の知の循環を加速させ、地域全体の社会的課題の解決やイノベーション創出を図り、地方創生につなげる。



次世代研究者育成プログラム

イノベーション創出人材の 実践的養成・活用プログラム

養成対象者
(人文社会系、理工農医療系)

博士課程後期(D)
若手研究員(PD)

- ・研究力・企画力の養成
トランスファラブルスキルの養成講座
- ・企業等への長期インターンシップ派遣
- ・シーズ・ニーズの出会いの場の提供
未来博士3分間コンペティション
若手研究者シーズ発表会
コンソーシアム人材セミナー
- ・マッチング支援

テニュアトラック導入による 若手研究者の自立・流動促進 プログラム

キャリアパス

大学教員

公的研究機関研究員

企業の研究員

- ・キャリアオプションの拡大
- ・ネットワークの構築
- ・知の共有
- ・共同研究の活性化
 - ・クロスアポイントメント
 - ・ラボローテーション
 - ・海外派遣
 - ・メンター及び研究支援者の配置

博士人材のキャリアスタートを
可能とするシステムを構築

深い専門性と広い視野をもつ優秀
な人材を地方に確保し、さらに育成

2-2. 連携機関

平成 28 年 2 月末現在の連携機関は次のとおりであり、計 45 機関である。

国立大学法人

1	岡山大学
2	島根大学
3	鳥取大学
4	愛媛大学
5	香川大学
6	高知大学
7	鳴門教育大学
8	岐阜大学

公私立大学法人

1	県立広島大学
2	広島市立大学
3	広島国際大学
4	立命館大学

地方公共団体

1	広島県
---	-----

国の研究機関

1	国立研究開発法人産業技術総合研究所中国センター
2	国立研究開発法人産業技術総合研究所四国センター
3	独立行政法人 酒類総合研究所

地方の研究機関

1	地方独立行政法人 山口県産業技術センター
---	----------------------

公的機関

1	公益財団法人 くれ産業振興センター
2	一般社団法人 中国地域ニュービジネス協議会
3	中国経済連合会

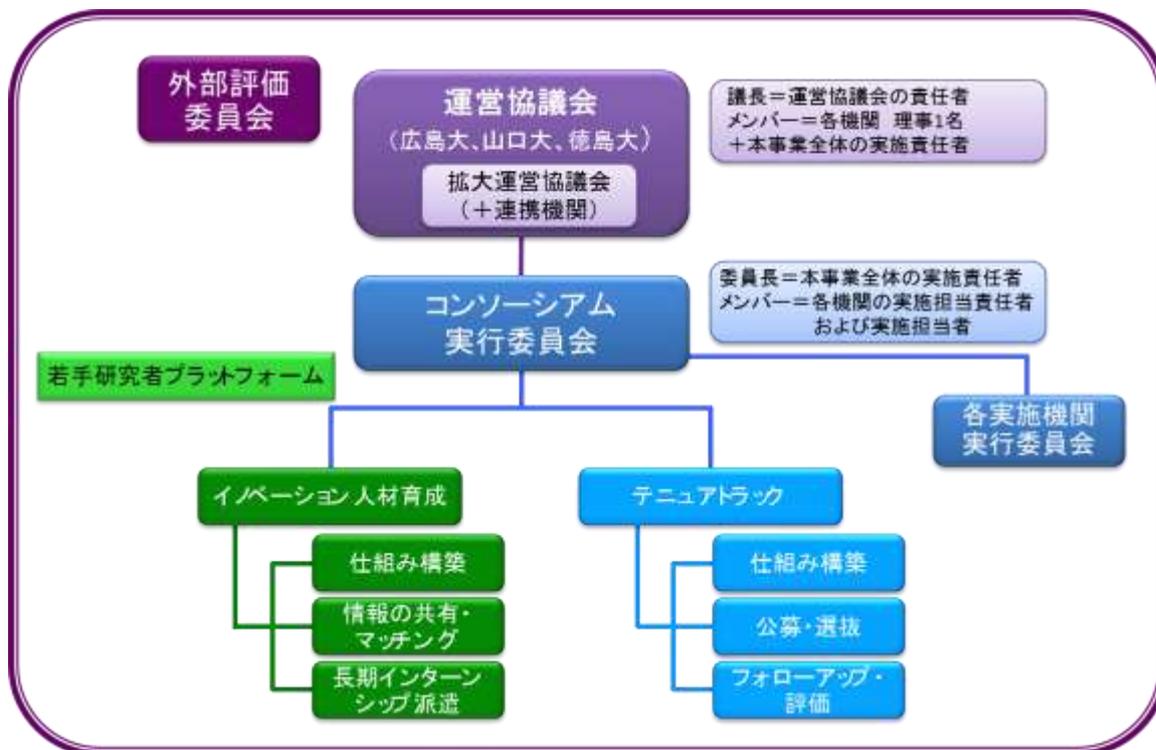
企業

1	マツダ(株)
2	(株)サタケ
3	日本ハム(株)中央研究所
4	(株)JFE スチール
5	(株)ジェーイーエル
6	EY アドバイザリー(株)
7	(株)ワコムアイシティ
8	(株)東洋高圧
9	(株)日本製鋼所広島製作所
10	(株)アビー
11	(株)あじかん
12	(株)ジェイ・エム・エス
13	三菱レイヨン(株)大竹研究所
14	フマキラー(株)
15	帝人ナカシマメディカル(株)
16	メドエルジャパン(株)
17	中外テクノス(株)
18	富士通(株) 中国支社
19	(株)計測リサーチコンサルタント
20	三菱日立パワーシステムズ(株)呉工場
21	大塚製薬(株)
22	三菱重工業(株)広島製作所
23	中国電力(株)エネルギー総合研究所
24	東ソー(株)

海外機関

1	Vitae (イギリス)
---	--------------

2-3. 推進体制



運営協議会は、実施機関である広島大学、山口大学、徳島大学の各担当理事、本事業の実施責任者、およびプログラム責任者で構成する。また、運営協議会のサブ組織として拡大運営協議会を置く。拡大運営協議会は、運営協議会に連携機関の実施責任者を加えたメンバーで構成する。運営協議会において、コンソーシアム全体および各機関の意思疎通を図る。運営協議会の下にコンソーシアム実行委員会を設置し、コンソーシアムとしての活動を進める。各実施機関においては、それぞれ実行委員会等を設置し、活動を進める。

運営協議会、拡大運営協議会、コンソーシアム実行委員会を必要に応じ開催し、各機関の事情をふまえながらコンソーシアム全体としての方針を決定し、実行する。

2-3-1. 平成 26 年度の推進体制

(1) コンソーシアムとしての責任者:

総括責任者: 広島大学長 浅原 利正
実施責任者: 広島大学 副学長(大学経営企画担当) 相田 美砂子
運営協議会議長: 広島大学 理事・副学長(社会産学連携・広報・情報担当) 岡本 哲治
(担当事務:広島大学 学術・社会産学連携室 社会連携 GL 村上 尚)
運営協議会メンバー: 山口大学 理事・副学長(学術研究担当) 三池 秀敏
徳島大学 理事・副学長(研究担当) 野地 澄晴
広島大学 副学長(大学経営企画担当) 相田 美砂子
広島大学グローバルキャリアデザインセンター 教授 三須 敏幸

コンソーシアム実行委員会:

「テニュアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム」責任者
広島大学 副学長(大学経営企画担当) 相田 美砂子
「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」責任者
広島大学グローバルキャリアデザインセンター 教授 三須 敏幸

(2) 各実施機関の責任者:

(2-1) 広島大学

「テニュアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム」
広島大学 理事・副学長(研究担当) 吉田 総仁
(担当事務:学術・社会産学連携室 研究企画室 室長 小左古 学)
「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」
広島大学 副学長(学生支援担当)／グローバルキャリアデザインセンター長 江坂 宗春
(担当事務:教育・国際室キャリア支援 GL 金子 博)

(2-2) 山口大学

山口大学 理事・副学長(学術研究担当) 三池 秀敏
(担当事務:学術研究部研究推進課長 中村 夢隆)

(2-3) 徳島大学

徳島大学 副学長(研究支援担当) 際田 弘志
(担当事務:研究国際部産学連携研究推進課研究企画係長 武市 学)

2-3-2. 平成 27 年度の推進体制

(1) コンソーシアムとしての責任者

総括責任者: 広島大学長 越智 光夫
実施責任者: 広島大学 副学長(大学経営企画担当) 相田 美砂子
運営協議会議長: 広島大学 理事・副学長(社会産学連携・広報・情報担当) 高田 隆
(担当事務:広島大学 学術・社会産学連携室 社会連携 GL 村上 尚)
運営協議会メンバー: 山口大学 理事・副学長(学術研究担当) 三池 秀敏
徳島大学 理事・副学長(研究担当) 野地 澄晴
広島大学 副学長(大学経営企画担当) 相田 美砂子
広島大学グローバルキャリアデザインセンター 教授 三須 敏幸

コンソーシアム実行委員会:

「テニュアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム」責任者
広島大学 副学長(大学経営企画担当) 相田 美砂子
「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」責任者
広島大学グローバルキャリアデザインセンター 教授 三須 敏幸

(2) 各実施機関の責任者

(2-1) 広島大学

「テニュアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム」
広島大学 理事・副学長(研究担当) 吉田 総仁
(担当事務:学術・社会産学連携室 研究企画室 室長 小左古 学)
「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」
広島大学 副学長(学生支援担当)／グローバルキャリアデザインセンター長 江坂 宗春
(担当事務:教育・国際室キャリア支援 GL 豊島 祐一)

(2-2) 山口大学

山口大学 理事・副学長(学術研究担当) 三池 秀敏
(担当事務:学術研究部研究推進課長 佐藤 元則)

(2-3) 徳島大学

徳島大学 副学長(研究支援担当) 際田 弘志
(担当事務:研究国際部産学連携研究推進課長 玉田 昌宏)

2-3-3. HIRAKU 運営協議会事務局

(1) 平成 26 年度

専任職員

推進員(事務統括)	江森 早穂
コーディネーター	砂谷 誠一
コーディネーター	田村 真悠
推進員	岡崎 亜紀子
推進員	東 真由美
推進員	久保 叔子
事務職員(学術・社会産学連携室)	木村 佳代(社会連携 G 主任)

協力職員

学術・社会産学連携室	村上 尚(社会連携 GL)
	岡門 宏治(社会連携 G 主査)
	岡本 拓士(研究企画室 URA)

(2) 平成 27 年度

専任職員

推進員(事務統括)	江森 早穂
コーディネーター	田村 真悠
コーディネーター	都留 良男
推進員	岡崎 亜紀子
推進員	東 真由美
推進員	久保 叔子
事業担当システム開発	細川 志織
事業担当システム開発	坂宗 和明
事務職員(学術・社会産学連携室)	木村 佳代(社会連携 G 主任)

協力職員

学術・社会産学連携室	村上 尚(社会連携 GL)
	児玉 透(社会連携 G 主任)
	岡本 拓士(研究企画室 URA)
	大塚 寛子(研究企画室 URA)

2-3-4. HIRAKU 運営協議会開催実績

(1) 第1回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成26年11月20日(木)13:30~15:30

開催場所:シェラトンホテル広島 3F 水輝

出席者:(山口大学)吉岡理事、中村課長、(徳島大学)際田副学長、玉田課長、(広島大学)岡本理事、相田副学長、江坂副学長、吉田理事、三須教授、青山副理事、松尾副理事、眞田副理事、岡本副理事、(連携機関)岡山大学野木研究推進本部長、島根大学西田研究協力課長、鳥取大学朝國研究協力課長、愛媛大学千々松研究支援課長、高知大学片岡研究推進課長、鳴門教育大学菅原総務課長、県立広島大学武藤副学長、広島市立大学豆谷社会連携センター次長、広島国際大学南山研究支援センター長、立命館大学宮野理工学部副学部長、広島県長谷川参事、産業技術総合研究所柳下中国センター所長、酒類総合研究所後藤理事、マツダ株式会社木谷本部長、株式会社ジェーイーエル金田総務部長、日本ハム株式会社森松中央研究所所長
他7名

議題と報告事項:

- ・コンソーシアムの概要説明
- ・コンソーシアム全体像についての説明(長期インターンシップ、プラットフォーム構築、コンソーシアム教員公募)

(2) 第2回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成26年12月17日(水)9:30~11:30

開催場所:リーガロイヤルホテル広島 3F 音戸の間

出席者:(山口大学)三池理事、中村課長、(徳島大学)野地理事、玉田課長、(広島大学)岡本理事、相田副学長、江坂副学長、三須教授、青山副理事、藤本副理事、松尾副理事、眞田副理事、岡本副理事、(連携機関)岡山大学野木研究推進本部長、島根大学竹内理事、鳥取大学宮田教育支援課長、鳥取大学朝國研究協力課長、広島市立大学豆谷社会連携センター次長、広島国際大学焼廣副学長、立命館大学宮野理工学部副学部長、産業技術総合研究所中村中国センター上席イノベーションコーディネータ、酒類総合研究所後藤理事、マツダ株式会社木谷本部長、日本ハム株式会社森松中央研究所所長、EY アドバイザリー株式会社中務シニアマネージャー、(JST)山本PO、福田主任調査員
他11名

議題と報告事項:

- ・JSTからの事業説明
- ・今後の各種取組(Vitae 共同開発講座、プラットフォーム構築、3分間コンペティション)について
- ・コンソーシアム教員募集、長期インターンシップ派遣の進捗状況

(3) 第3回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成27年1月16日(金)9:20~11:20

開催場所:ホテルグランヴィア広島 21F 曙光の間

出席者:(山口大学)中村課長(三池理事代理)、(徳島大学)玉田課長(野地理事代理)、
(広島大学)相田副学長(議長代理)、三須教授、藤本副理事(岡本理事代理)

他 7 名

議題と報告事項:

- ・平成 26 年第一期コンソーシアム教員の書面審査によるヒアリング対象者の決定
- ・「コンソーシアム規約(案)」、「運営協議会要項(案)」、「実行委員会要項(案)」の提出
- ・コンソーシアム人材セミナーについて

(4) 第 4 回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成 27 年 1 月 23 日(金)16:00~16:30

開催場所:シェラトンホテル広島 3F 美波 A

出席者:(山口大学)三池理事、(徳島大学)野地理事、玉田課長、(広島大学)岡本理事、相田副学長、
三須教授、藤本副理事、青山副理事
(連携機関)島根大学竹内理事、広島国際大学南山研究支援センター長、広島県長谷川参事、
産業技術総合研究所中村中国センター上席イノベーションコーディネータ 他 10 名

議題と報告事項:

- ・先立って行われた平成 26 年度コンソーシアム教員ヒアリング試験結果について
- ・3 月実施予定の「Vitae 共同養成講座」について

(5) 第 5 回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成 27 年 2 月 20 日(金)16:20~18:00

開催場所:シェラトンホテル広島 4F 泉

出席者:(山口大学)中村課長(三池理事代理)、(徳島大学)玉田課長(野地理事代理)、
(広島大学)相田副学長(議長代理)、三須教授、藤本副理事(岡本理事代理)、松尾副理事、
眞田副理事、青山副理事 他 8 名

議題と報告事項:

- ・平成 26 年度第二期コンソーシアム教員ヒアリング対象者の決定
- ・第 3 回運営協議会に提出された規約等(案)について、共同実施・連携機関からの意見を入れ、修正案提出
- ・コンソーシアム HP、ロゴ、グッズの作成について

(6) 第 6 回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成 27 年 3 月 5 日(木)16:00~17:00

開催場所:シェラトンホテル広島 3F 水輝

出席者:(山口大学)三池理事、(徳島大学)野地理事、(広島大学)相田副学長、江坂副学長、三須教授、
青山副理事、藤本副理事、(連携機関)広島県串岡課長、産業技術総合研究所柳下中国セ
ンター長、マツダ株式会社木谷本部長 他 9 名

議題と報告事項:

- ・先立って行われた平成26年度第二期コンソーシアム教員ヒアリング試験結果について
- ・第4回運営協議会で提出されたコンソーシア規約等の承認(3月5日付成立、11月20日に遡って適用)
- ・平成27年度第二期インターンシップ募集要項(案)提出

(7) 第7回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成27年4月23日(木)9:20~10:50

開催場所:シェラトンホテル広島 4F 泉

出席者:(山口大学)三池理事、佐藤課長、(徳島大学)野地理事、玉田課長、(広島大学)高田理事、

相田副学長、江坂副学長、三須教授、石川副理事、眞田副理事、青山副理事

(連携機関)立命館大学里深教授、県立広島大学原田理事、広島県串岡課長、マツダ株式会

社村岡主幹

他12名

議題と報告事項:

- ・平成27年度第三期コンソーシアム教員の公募分野及び募集人数の確認
- ・外部評価委員会委員名簿の承認

(8) 第8回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成27年7月29日(水)17:00~18:00

開催場所:シェラトンホテル広島 4F 華

出席者:(山口大学)佐藤課長(三池理事代理)、(徳島大学)玉田課長(野地理事代理)、

(広島大学)相田副学長(議長代理)、三須教授、石川副理事(高田理事代理)、松尾副理事、

眞田副理事、青山副理事

他12名

議題と報告事項:

- ・平成27年度第三期コンソーシアム教員ヒアリング対象者の決定
- ・平成27年度第三期長期インターンシップ募集要項(案)の提出

(9) 第9回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成27年8月26日(水)16:00~17:00

開催場所:シェラトンホテル広島 3F 美波 B

出席者:(山口大学)三池理事、(徳島大学)野地理事、玉田課長、(広島大学)高田理事、相田副学長、

江坂副学長、三須教授、石川副理事、(連携機関)広島市立大学豆谷社会連携センター次長、

広島県長谷川参事、マツダ株式会社木谷本部長、株式会社ジェイ・エム・エス中川中央研究所研

究管理室長

他11名

議題と報告事項:

- ・先立って行われた平成27年度第三期コンソーシアム教員ヒアリング試験結果について
- ・コンソーシアム連携機関の新規加入について(14機関)

(10) 第10回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成 27 年 10 月 5 日(月)17:00～18:00

開催場所:シェラトンホテル広島 4F 泉

出席者:(山口大学)三池理事、佐藤課長、(徳島大学)野地理事、荒木特任准教授、玉田課長

(広島大学)相田副学長、三須教授、松尾副理事、青山副理事 他 12 名

議題と報告事項:

- ・平成 27 年度第四期コンソーシアム教員の公募分野及び募集人数の確認
- ・コンソーシアム連携機関の新規加入について(4 機関)

(11) 第 11 回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成 28 年 1 月 29 日(金)17:00～18:00

開催場所:シェラトンホテル広島 4F 泉

出席者:(山口大学)佐藤課長(三池理事代理)、(徳島大学)玉田課長(野地理事代理)、

(広島大学)相田副学長(議長代理)、三須教授、石川副理事(高田理事代理) 他 11 名

議題と報告事項:

- ・平成 28 年度第四期コンソーシアム教員ヒアリング対象者の決定
- ・平成 28 年度第五期教員公募・採用スケジュールについて
- ・第一期及び第二期コンソーシアム教員の一年目評価について
- ・コンソーシアム連携機関の新規加入について(5 機関)

(12) 第 12 回 HIRAKU 運営協議会

開催日時:平成 28 年 2 月 29 日(月)16:20～17:00

開催場所:シェラトンホテル広島 3F 水輝

出席者:(山口大学)三池理事、(徳島大学)野地理事、(広島大学)高田理事、相田副学長、三須教授、

原副理事、石川副理事、(連携機関)鳥取大学長島学長特別補佐、広島県長谷川参事、産業

技術総合研究所柳下中国センター長 他 12 名

議題と報告事項:

- ・先立って行われた平成 28 年度第四期コンソーシアム教員ヒアリング試験結果について
- ・第一期及び第二期コンソーシアム教員の一年目評価について
- ・コンソーシアム連携機関の新規加入について(1 機関)

2-4. 年次計画（数値目標）

2-4-1. コンソーシアム教員の採用人数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
春着任		第2期	第4期	第6期	第8期	第10期	第12期	第14期
秋着任	第1期(冬)	第3期	第5期	第7期	第9期	第11期	第13期	第15期
広島大学	4	5	6	6	6	6	6	6
山口大学	0	2	1	1	1	1	1	1
徳島大学	0	1	1	1	1	1	1	1
計	4	8	8	8	8	8	8	8

2-4-2. 長期インターンシップ生の派遣人数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
前期		第2期	第4期	第6期	第8期	第10期	第12期	第14期
後期	第1期	第3期	第5期	第7期	第9期	第11期	第13期	第15期
広島大学	4	14	14	14	14	14	14	14
山口大学	0	2	2	2	2	2	2	2
徳島大学	2	2	2	2	2	2	2	2
計	6	18	18	18	18	18	18	18

3. テニユアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム

3-1. コンソーシアム教員の公募・審査・採用実績

	H26 年度	H27 年度		H28 年度	
春着任		第 2 期		第 4 期	
秋着任	第 1 期(冬)		第 3 期		第 5 期
広島大学	4	2 (2)	3 (1)	2 (2)	4
山口大学	0	2	0	1 (1)	0
徳島大学	0	0	1	1	0
公募開始	2014 年 11 月 25 日	2014 年 12 月 26 日	2015 年 4 月 28 日	2015 年 10 月 13 日	
公募締切	2014 年 12 月 22 日	2015 年 1 月 29 日	2015 年 6 月 25 日	2015 年 12 月 10 日	
コンソーシアム内公開ヒアリング	2015 年 1 月 23 日	2015 年 3 月 5 日	2015 年 8 月 26 日	2016 年 2 月 29 日	
採用者 計	4 [2]	4 [2]	4 [1]	4 [4] (予定)	

(括弧内の数)→女性限定公募の件数 (内数)

[括弧内の数]→採用者の内の女性の数 [内数]

コンソーシアム教員(テニユアトラック制・年俸制)の公募については、実施機関(広島大学、山口大学、徳島大学)から、それぞれ事業計画及び大学の計画に従った募集分野・人数・職階の候補を提案し、コンソーシアム運営協議会において決定している。

なお教員の職階等については、各大学内での早期定着、安定的な研究環境の確保、雇用後の流動性の担保、より素早く各大学で実力を発揮できる環境を整える、などの観点から、各大学の年俸制度・テニユアトラック制度に則った上で、通常の教員と同じ取扱いである。特殊な職階を設定しない。

運営協議会での決定を受けて、コンソーシアム実行委員会が公募要領を作成し、JREC-IN、コンソーシアムHP、各大学HP等にて英語及び日本語で公募を行う。その公募期間は可能な限り2か月以上となるように設定している。また、女性限定公募を行うことや、公募要領に女性研究者への支援を明記することにより、女性への応募を促している。同様に、外国人研究者を歓迎することを募集要項に表記し、海外にも積極的に情報を展開している。これらの結果、第3期までに、5名(採用教員の41%)の女性教員、2名(同17%)の外国籍教員の採用につながっている。

この公募による教員の選考は、コンソーシアム実行委員会における応募の取りまとめの後、各公募分野における一次選考を経て、コンソーシアム内公開ヒアリングによる二次選考を行っている。ヒアリングによる結果を受け、審査委員会が最終候補者の推薦を運営協議会に対して行い、運営協議会が採用候補者を決定する。その結果を各大学に通知し、各大学が採用手続きを進めている。

○第1期公募(平成 26 年度後期):

- ・JREC-IN 及び広島大学 HP にて英語及び日本語で公募
- ・2014 年 11 月 25 日公募開始、2014 年 12 月 22 日締切、2015 年 1 月 23 日最終選考、2015 年 3 月 1 日採用(4 名)
- ・公募分野: 欧米文学語学・言語学、マクロ経済学、反応性機能分子の化学、宇宙科学(すべて広島大学)
- ・4 分野合計で 70 名の応募(うち 8 名女性)

○第2期公募(平成 27 年度前期):

- ・JREC-IN、コンソーシアム HP、各大学 HP にて英語及び日本語で公募
- ・2014 年 12 月 26 日公募開始、2015 年 1 月 29 日締切、2015 年 3 月 5 日最終選考、2015 年 4 月 1 日以降採用(4 月 1 日採用 2 名、6 月 1 日採用 1 名、7 月 1 日採用 1 名)
- ・公募分野: 病態制御学講座・獣医衛生学分野(山口大学)、整形外科学(広島大学・女性限定公募)、細胞生物学もしくは発生生物学(山口大学)、水産生物学(広島大学・女性限定公募)
- ・4 分野合計で 34 名の応募(うち女性 11 名)

○第3期公募(平成 27 年度後期):

- ・JREC-IN、コンソーシアム HP、各大学 HP にて英語及び日本語で公募
- ・2015 年 4 月 28 日公募開始、2015 年 6 月 25 日締切、2015 年 8 月 26 日最終選考、2015 年 10 月 1 日以降採用(11 月 1 日採用 2 名、2016 年 2 月 1 日採用 2 名)
- ・公募分野: 家畜繁殖学(広島大学・女性限定公募)、地球環境計画学(広島大学)、老年看護学(広島大学)、家畜繁殖学(徳島大学)
- ・4 分野合計で 26 名の応募(うち女性 11 名)

○第4期公募(平成 28 年度前期):

- ・JREC-IN、コンソーシアム HP、各大学 HP にて英語及び日本語で公募。各分野の学会 HP、メーリングリスト等で周知。果樹園芸学分野では、海外求人サイト(Academic Keys)の使用を試行。
- ・①2015 年 10 月 13 日公募開始(果樹園芸学・有機合成薬学)、2015 年 12 月 10 日締切(有機合成薬学は応募者少数のため 12 月 28 日まで締切延長を実施)、②2015 年 11 月 12 日公募開始(スポーツ科学・食品科学)、2015 年 12 月 21 日締切。2016 年 2 月 29 日最終選考(4 分野)、2016 年 4 月 1 日以降採用予定。
- ・公募分野: 果樹園芸学(山口大学・女性限定公募)、有機合成薬学(徳島大学)、スポーツバイオメカニクスあるいはスポーツ栄養学(広島大学・女性限定公募)、食品科学(広島大学)
- ・4 分野合計で 20 名の応募(うち女性 14 名)

3-2. コンソーシアム教員の着任状況

公募分野	所属先	氏名	着任日
第1期			
欧米文学語学・言語学	広島大学 大学院文学研究科	松本 舞	2015年3月1日
マクロ経済学	広島大学 大学院社会科学研究科	中川 雅央	2015年3月1日
反応性機能分子の化学	広島大学 大学院理学研究科	Shang Rong	2015年3月1日
宇宙科学	広島大学 大学院理学研究科	岡部 信広	2015年3月1日
第2期			
病態制御学講座(獣医衛生学分野)	山口大学 共同獣医学部	渋谷 周作	2015年4月1日
整形外科学	広島大学 大学院医歯薬保健学研究院	中島 祐子	2015年4月1日
細胞生物学もしくは発生生物学	山口大学 大学院医学系研究科	原 裕貴	2015年6月1日
水産生物学	広島大学 大学院生物圏科学研究科	若林 香織	2015年7月1日
第3期			
家畜繁殖学	広島大学 大学院生物圏科学研究科	星野 由美	2015年11月1日
地球環境計画学	広島大学 大学院工学研究院	Lam Chi Yung	2015年11月1日
老年看護学	広島大学 大学院医歯薬保健学研究院	梶原 弘平	2016年2月1日
家畜繁殖学	徳島大学 生物資源産業学部(仮称)設置準備室	谷原 史倫	2016年2月1日

3-3. コンソーシアム教員を対象とした研修

3-3-1. 平成 26 年度

英国 vitae による能力養成講座(2015(平成 27)年 3 月 20 日)

コンソーシアム教員も積極的に参加し、トランスファラブルスキルの意識醸成と自身のキャリア構築、学生のキャリア支援についての意識を深めた(詳細は 6-1-2 を参照)。

3-3-2. 平成 27 年度

第 1 回 HIRAKU コンソーシアム教員研修(2015(平成 27)年 7 月 3 日(金))

「外部資金申請書作成の基礎」および「伴走者型支援」に関するセミナー・ワークショップ

前半では、岡本拓士 URA(広島大学研究企画室)による「外部資金申請書作成の基礎」に関するセミナー及びワークショップを実施した。外部資金の獲得については、若手教員にとって身近な関心事であり、強い要望が寄せられていたものである。後半は、佐藤万知准教授(広島大学)・勝野喜以子准教授(成蹊大学)をお迎えし、伴走型ワークショップを実施した。「自身の専門職とは？」をテーマとし、若手教員がどのように価値基準を設定し、キャリアステージごとに変化する自身の専門職をどのように組み上げていくかについて、認識を深めた。



第 2 回 HIRAKU コンソーシアム教員研修(2015(平成 27)年 12 月 1 日(火)・2 日(水))

「PR 力のある英文研究成果概要の書き方 -若手研究者のキャリアアップのために-」

広島大学ライティングセンターとの共催

トム・ガリー教授(東京大学大)をお迎えして、セミナーおよびワークショップを開催した。若手研究者が自身の研究成果を簡潔に英語で書くことは、英語を母国語とする英国においてもキャリアパス構築においてもっとも重要な能力の一つであり、国際人材としてのキャリアアップを目指す上で欠かすことができない。本研修においては、日本語および自身の専門分野に限定されることなく活躍する基礎力を若手研究者が身につけることを目指した。1 日目のセミナ



一には、教員や研究員、大学院博士課程の学生を中心にさまざまな分野から参加者があった。また、2日目のワークショップは、自然科学系・人文社会系を午前・午後に分けて行われた。

第3回 HIRAKU コンソーシアム教員研修(2015(平成27)年12月16日(水))

「平成27年度広島大学全学FD「研究力強化概論」」 広島大学学術・社会産学連携室 主催

大学における研究力が、組織レベル、個人レベルでどのように評価されるのかについて現状を理解し、その上で、広島大学の研究力に関する現状を理解し、理念・目的を共有することを目指した。林隆之准教授(大学評価・学位授与機構)を講師に迎え「教員・研究者の評価をどのように考えるか:教員評価・組織評価・研究評価の動向」についてのご講演を頂いた。その後、吉田総仁理事・副学長(広島大学)より「本学の研究力強化に向けた取り組み」についての講義を行った。主催は広島大学 学術・社会産学連携室であり、未来を拓く地方協奏プラットフォーム事業はコンソーシアム教員の研修の場として、共催として参加した。コンソーシアム教員は大学の新任教員として積極的に本研修に参加し、また欠席者には情報提供を行った。

第4回 HIRAKU コンソーシアム教員研修(2015(平成27)年12月17日(木))

「平成27年度広島大学全学FD「研究マネジメント研修」」 広島大学学術・社会産学連携室 主催

大学教員としての様々な業務と並行して、どのように研究をマネジメントするかについて理解し、またその両立にあたって、様々な支援や順守すべき項目について学ぶことを目指した。西嶋渉副理事(広島大学)が「研究を進める上での「人・金・モノ」」と題して講義を行った。続いて、小左古学高度専門職(広島大学)が「本学の学術支援について」と題して講義を行った。主催は広島大学 学術・社会産学連携室であり、未来を拓く地方協奏プラットフォーム事業はコンソーシアム教員の研修の場として、共催として参加した。コンソーシアム教員は新任教員として積極的に本研修に参加し、また欠席者には情報提供を行った。

第5回 HIRAKU コンソーシアム教員研修(2015(平成27)年12月19日(土)・20日(日))

「科学者のための英語プレゼンテーション講習会」 広島大学ライティングセンターとの共催

国立遺伝学研究所より広海健、平田たつみ、Gorman Toddの各氏を招き、「科学者のための英語プレゼンテーション講習会」と題したワークショップを開催した。若手研究者が適切な英語によるプレゼンテーションを行うことは、研究発表のみならず就職活動等キャリア開発においても欠かすことができない。本講習会の内容は、国立遺伝学研究所で作成され、大きな成果を上げている『遺伝研メソッドで学ぶ科学英語プレゼンテーション』のショートコースの形で実施し、2日間に渡ったワークショップでは、英語によるプレ

ゼンテーションのトレーニングを通じて英語力のみならず、研究者としての論理的思考、質問や議論する能力を培うことを目指した。プレゼンテーションの基礎について key question、perspective frame を中心としたわかりやすい説明と、モデルケースを元にした発表練習、研究発表等を通じた実践により、広島大学とコンソーシアム連携機関からの参加者は、それぞれプレゼンテーションについて深い理解を得た。さらには、「プレゼンテーションにおいては、結果だけでなく自身をみせることを忘れてはいけない」とのワークショップ全体を通じたメッセージは、国際学会のような場面だけでなく、参加者の研究キャリア全体にも影響を与えうるものである。

第6回 HIRAKU コンソーシアム教員研修(2016(平成28)年2月5日(金))

「第1回コンソーシアム教員セミナー」

広島大学 学術・社会産学連携室 研究企画室との共催

コンソーシアム教員が中心となり、異分野間での交流の活性化、企画力の向上を目指し、英語による定期的にセミナーを開催することとした。その第一回目として、まず初めにコンソーシアムの概略説明を岡本拓士 URA(広島大学)が行った。続いて、鈴木榮一郎客員教授(広島大学・コンソーシアム教員メンター)が自身の企業等での豊富な研究・研究マネジメント経験についての講演を行った。その後、三代川典史シニア URA(広島大学)のファシリテートのもと、



コンソーシアム教員である、Shang Rong 助教および岡部信広助教からそれぞれ取り組んでいる研究内容を異分野にもわかりやすい形で発表を行い、それに対して、広島大学サイエンスコミュニケーションインターンの Caitlin Devor 氏が専門の立場からコメントし、アドバイスを行った。

第7回 HIRAKU コンソーシアム教員研修(2016(平成28)年3月11日(金))

「イノベーション対話型ワークショップ」

文部科学省グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)との共催

薬師寺開氏(チーム・ビスケット)をファシリテーター、川瀬真紀特任准教授(広島大学)をプログラム協力者として迎え、コンソーシアム教員と、連携機関・その他の地元企業・官等からの参加者によるワークショップを開催した。主なテーマを collaboration とし、異なるセクター間で、互いの考え方、言葉、関心の違いなどを経験し、相互理解に資することを主な目的とした。薬師寺氏の講義を挟みつつ、各参加者はチームワーキングによるアイデア出し、フィールドワー



ク、そこでの発見の整理、プレゼンテーション等に取り組み、産官と学の間での今後の共同研究・活動に資すると共に、コンソーシアム教員はより広い場面で活躍する能力の基礎を身に着けた。

第8回コンソーシアム教員研修(2016(平成28)年3月12日(土))

「Vitae ワークショップ:Preparing for academic leadership」

Janet Metcalfe 氏 (英国 vitae)、佐藤万知准教授(広島大学)をファシリテーターとして迎え、リーダーシップに係るワークショップを実施した。コンソーシアム教員の多くが、大学教員の初期段階にあり、今後のキャリアにおいて、リーダーシップを身に着けること非常に重要となる。ワークショップでは、アカデミックにおけるリーダーシップ(プロジェクトの牽引・研究室マネジメント等)に関して、リーダーシップの様々なタイプや他の研究者の考えを知ると共に、リーダーシップをとるために自身にとって必要な能力を見直し、今後の活動や能力開発の方向を検討した。



3-4. コンソーシアム教員の評価

コンソーシアム教員に対して、着任後1年後、2年後、3年後、4年半後に評価を実施することとしている。なお、3年後は中間評価、4年半後は最終評価であり、テニユア移行審査の位置づけである。

3-4-1. 第1期（平成26年度後期着任）

2015(平成27)年3月1日に着任した第1期コンソーシアム教員4名に対し、1年目評価を、次のように実施する。

評価時期:2016年3月

評価目的:コンソーシアム教員の活動状況や研究環境等を把握し、必要に応じて助言を与え、状況を改善する。

評価主体:「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」コンソーシアム実行委員会に評価部会を設置し、実施する。評価部会は、実行委員長が必要と認める者、2名以上で構成する。

評価方法:

- ① 以下の内容について、被評価者が資料を作成し、提出。
 1. 原著論文数、研究発表数、共同研究数、外部資金獲得実績、講義数等の定量的な状況報告
 2. 自己評価(自己アピール)、次年度計画の記述
 3. 上記1に関連してそれぞれの具体的な情報の記述
- ② ①で提出された資料を元に評価者が各教員の現状を把握。
- ③ 評価部会による被評価者への面談。
- ④ 評価部会は運営協議会に評価結果を提出。

評価結果のフィードバック:評価結果を被評価者、メンターに通知する。必要に応じて被評価者への新たな支援の検討や、各大学、部局に状況の改善を働き掛けをする。

4. イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム

4-1. 長期インターンシップ生の募集

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムでは、理工農系、医療系、人文社会系の枠組みにとらわれず、若手研究者が異なる領域にも果敢に挑戦し、社会を変革する意識と情熱を持った人材を育てることを目指している。その一環として、若手研究者が実際の企業や社会の課題解決に貢献しつつ、実践的な能力の養成とキャリアオプションの拡大を図ることを目的として、長期インターンシップ派遣制度を設けている。

コンソーシアムとして共通の公募要領を作成し、運営協議会で承認の後、コンソーシアム全体として公募を開始した。

4-1-1. 第1期（平成26年度後期）

募集期間：2014(平成26)年11月4日(火)～2014(平成26)年12月19日(金)

募集対象：広島大学、山口大学、徳島大学に在籍中の博士課程(博士課程前期を除く。)の学生あるいは博士課程(博士課程前期を除く。)修了後5年程度以内の任期付研究者

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業(次世代研究者育成プログラム)
「未来を拓く地方協業プラットフォーム」

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム -長期インターンシップ派遣-募集

募集対象
◎博士課程(博士課程前期を除く。)の学生あるいは博士課程(博士課程前期を除く。)修了後5年程度以内の任期付研究者
◎国内外の企業・研究機関等において、2か月以上のインターンシップに従事することが可能な者

募集人数
4名程度(うち1名程度を女性優先枠とする)

募集期間
平成26年11月4日(火)～12月19日(金)

選考方法 ※随時、選考を行います。
書類審査(必要に応じて口述選考)

待遇
支援額(月額最大15万円)
国内外派遣先への交通費等
インターンシップにかかわる消耗品費等

詳細はグローバルイノベーションセンター若手研究人材養成担当HPの募集要領をご覧ください。
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/21361/>

応募を希望する場合はあらかじめ下記までご連絡ください。
広島大学グローバルイノベーションセンター 若手研究人材養成担当
TEL:082-424-6213 E-mail:wwkateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

広大 若手 検索

4-1-2. 第2期 (平成27年度前期)

募集期間: 2015(平成27)年4月1日(水)~2015(平成27)年7月31日(金)

募集対象: 広島大学、山口大学、徳島大学及び連携機関※に在籍中の博士課程(博士課程前期を除く。)の学生あるいは博士課程(博士課程前期を除く。)修了後5年程度以内の任期付研究者。国内外の企業・研究機関等において、2か月以上のインターンシップに従事することが可能な者。連携機関に在籍する対象者にあつては、インターンシップ派遣期間中、広島大学の「研究員(パートタイム)」としての雇用契約が可能な者。博士課程(博士課程前期を除く。)の在籍者にあつては、広島大学の大学院共通授業科目「長期インターンシップ」の履修を前提とする。

※募集対象となる「連携機関」には、岡山大学、島根大学、鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学、県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学、産業技術総合研究所中国センター/四国センター、酒類総合研究所が含まれる。



HIRAKU
Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users
未来を拓く地方協働プラットフォーム

**イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム
長期インターンシップ希望者募集**

募集対象
◎広島大学、山口大学、徳島大学及び連携機関※(に在籍中の博士課程(博士課程前期を除く。))の学生あるいは博士課程(博士課程前期を除く。)修了後5年程度以内の任期付研究者
◎国内外の企業・研究機関等において、2か月以上のインターンシップに従事することが可能な者

募集人数
9名程度(うち若干名程度を女性優先枠とする)

募集期間
平成27年4月1日(水)~7月31日(金)

選考方法 ※随時、選考を行います。
書類審査(必要に応じて口述選考)

待遇
支援額(月額最大15万円)
国内外派遣先への交通費等

※連携機関
岡山大学、島根大学、鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学、県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学、産業技術総合研究所中国センター/四国センター、酒類総合研究所など

問い合わせ先
「未来を拓く地方協働プラットフォーム」運営協議会事務局
広島大学グローバルキャリアデザインセンター若手研究人材養成担当
TEL:082-424-4563 E-mail:wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

提出先
広島大学または連携機関に在籍の方→広島大学グローバルキャリアデザインセンター
山口大学に在籍の方→山口大学大学研究推進機構研究推進課幹部課課長室
徳島大学に在籍の方→徳島大学研究支援・産官学連携センターサーチ・アドミニストレーション部門

詳細は「未来を拓く地方協働プラットフォームHIRAKU」HPをご覧ください
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/>

4-1-3. 第3期 (平成27年度後期)

募集期間: 2015(平成27)年10月1日(木)~2016(平成28)年1月29日(金)

募集対象: (代表実施機関)広島大学、(共同実施機関)山口大学、徳島大学、(連携機関)岡山大学、島根大学、鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学、県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学に在籍中の博士課程(博士課程前期を除く。)の学生あるいは博士課程(博士課程前期を除く。)修了後5年程度以内の任期付研究者。

広島大学及び連携機関の学生は広島大学の授業科目「長期インターンシップ」を履修する。

連携機関在籍の者は、広島大学研究員(パートタイム)として雇用する。

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業(次世代研究者育成プログラム)
未来を拓く地方協奏プラットフォーム

未来を拓く 長期インターンシップ 希望者募集

第3期
募集期間
平成27年
10/1(木)~
平成28年
1/29(金)

募集対象
インターンシップを希望する博士課程後期学生、
ポストドクター・若手研究者

募集人数
9名程度(うち若干名程度を女性優先枠とする)

応募方法
未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会事務局または
各大学に、担当窓口へ事前相談を行った後、必要書類を提出
ください。詳しくは下記URLよりホームページをご覧ください。

キャリア相談・事前相談
応募を希望する方、進路で迷われている方に対して
随時キャリア相談を受け付けております。

※ 広島大学、山口大学、徳島大学、岡山大学、島根大学、
鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、
鳴門教育大学、県立広島大学、広島市立大学、
広島国際大学、立命館大学 など

長期インターンシップ派遣期間中は、給与
(月額最大15万円)・交通等を支給します。
このほか、さまざまなセミナーやイベントな
ども開催し、博士課程後期学生、ポストド
クター・若手研究者のキャリア支援を行って
います。

未来を拓く地方協奏プラットフォーム
HIRAKU
Home for Innovative Researchers and
Academic Knowledge Users

問い合わせ先 未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会事務局
Tel: 082-424-4563 E-mail: hiraku@hiroshima-u.ac.jp
URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/>

4-2. 長期インターンシップの派遣実績

第1期（学年は派遣時）

	名前	性別	国籍	所属	学年／職名	派遣先	派遣期間	審査状況
1	隅田 姿	女	日本	広島大学 大学院国際協力 研究科 教育文化 専攻	D2	UNESCO(パリ)	2014/12/1～ 2015/2/28	広島大学 平成26年11 月審査
2	安原 大樹	男	日本	広島大学 大学院理学研究 科 化学専攻	D2	あじかん株式会社	2015/1/15～ 2015/3/20	広島大学 平成26年12 月審査
3	孟 令宇	男	中国	広島大学 グローバルキャリア デザインセンター (大学院国際協力 研究科 開発科学 専攻)	広島 大学 特別 研究員	オーストラリア Australian Research Council Centre of Excellence Geotechnical Science & Engineering	2015/3/1～ 2015/5/31	広島大学 平成26年12 月審査
4	菅尾 英代	女	日本	広島大学 大学院教育学研 究科 文化教育開 発専攻	D1	国立教育政策研究 所	2015/2/25～ 2015/5/31	広島大学 平成26年12 月審査

第2期（学年は派遣時）

	名前	性別	国籍	所属	学年／職名	派遣先	派遣期間	審査状況
1	上川 修平	男	日本	広島大学 大学院先端物質 科学研究科 量子 物質科学専攻	D2	戸田工業株式会社	2015/7/27～ 2015/9/30	広島大学 平成26年12 月審査

2	伊藤 悠真	男	日本	広島大学 大学院工学研究 科 輸送・環境シ ステム専攻	D2	株式会社 IHI	2015/5/18～ 2015/7/24	広島大学 平成 27 年 5 月審査
3	BEGUM Momotaj	女	バングラ デシュ	広島大学 グローバルキャリア デザインセンター (大学院国際協力 研究科 教育文化 専攻)	広島 大学 特別 研究 員	国連訓練調査研究 所(ユニタール)広 島事務所	2015/9/1～ 2015/11/30	広島大学 平成 27 年 5 月審査
4	山田 朋範	男	日本	広島大学 グローバルキャリア デザインセンター (大学院理学研究 科 化学専攻)	広島 大学 特別 研 究員	栗原国際特許事務 所	2015/6/8～ 2015/8/7	広島大学 平成 27 年 5 月審査
5	NINDITA Yosi	女	インド ネシア	広島大学 グローバルキャリア デザインセンター (大学院先端物質 科学研究科 分子 生命機能科学専 攻)	広島 大学 特別 研究 員	独立行政法人 酒 類総合研究所	2015/9/14～ 2015/11/20	広島大学 平成 27 年 6 月審査
6	何 美娜	女	中国	広島大学 大学院文学研究 科 人文学専攻	D3	松山市立子規記念 博物館	2015/9/1～ 2015/10/31	広島大学 平成 27 年 7 月審査
7	奥 正太	男	日本	広島大学 グローバルキャリア デザインセンター (大学院先端物質 科学研究科 分子 生命機能科学専 攻)	広島 大学 特別 研究 員	国立研究開発法人 農業・食品産業技術 総合研究機構 近 畿中国四国センタ ー	2015/8/10～ 2015/10/12	広島大学 平成 27 年 7 月審査
8	岡崎 泰幸	男	日本	山口大学 大学院理工学研 究科 システム設 計工学系専攻	D1	日本原子力研究開 発機構	2015/8/17～ 2015/10/24	山口大学審 査

9	Sarda Narendra Girish	男	インド	徳島大学 大学院先端技術 科学教育部 物質 生命システム工学 専攻	D3	三菱レイヨン株式会 社 大竹研究所	2015/9/3～ 2015/12/3	徳島大学審 査
---	--------------------------	---	-----	---	----	----------------------	------------------------	------------

第3期（学年は派遣時）

	名前	性別	国籍	所属	学年／職名	派遣先	派遣期間	審査状況
1	宮下 由里奈	女	日本	広島大学 大学院理学研究 科 数理分子生命 理学専攻	D2	エイキット株式会社	2015/10/5～ 2015/12/9	広島大学 平成27年6 月審査
2	末廣 優加	女	日本	鳥取大学 大学院連合農学 研究科 生物生産 化学専攻	D2	独立行政法人 酒 類総合研究所	2015/10/19 ～ 2015/12/20	広島大学 平成27年8 月審査
3	THANH HOAI HOANG	男	ベトナム	広島大学 大学院理学研究 科 数学専攻	D3	株式会社富士通研 究所	2015/11/17 ～ 2016/2/19	広島大学 平成27年10 月審査
4	戴 容秦思	女	中国	広島大学 大学院生物圏科 学研究科	研究員	株式会社イズミ	2015/11/24 ～ 2016/2/6	広島大学 平成27年10 月審査
5	重藤 元	男	日本	広島大学 グローバルキャリア デザインセンター (大学院先端物質 科学研究科 分子 生命機能科学専 攻)	広島 大学 特別 研究員	株式会社ジェイ・エ ム・エス	2016/1/12～ 2016/3/15	広島大学 平成27年11 月審査

6	西津 卓史	男	日本	広島大学 大学院工学研究 科 輸送・環境シ ステム専攻	D2	株式会社 IHI	2016/1/12～ 2016/3/11	広島大学 平成 27 年 11 月審査
7	木下 拓矢	男	日本	広島大学 大学院工学研究 科 システムサイ バネティクス専攻	D1	マツダ株式会社	2016/1/19～ 2016/3/24	未来博士3 分間コンペテ イション 2015 マツダ賞受 賞者
8	富本 悠公	男	日本	山口大学 大学院理工学研 究科 デザイン工 学系専攻	D1	株式会社 医療福 祉工学研究所	2015/12/7～ 2016/2/12	山口大学審 査
9	胡 文強	男	中国	徳島大学 大学院先端技術 科学教育部 知的 力学システム工学 専攻	D1	株式会社インフォマ ティクス	2015/11/9～ 2016/1/9	徳島大学審 査

5. 成果報告会, シンポジウム

5-1. 第1回成果報告会

日時:2015(平成27)年7月3日(金) 13:00~17:20 (参加者:81名)

場所:広島大学中央図書館ライブラリーホール(東広島キャンパス)

プログラム:

13:00 開会挨拶 吉田 総仁 広島大学 理事・副学長(研究担当)

13:10 基調講演 高須 秀視氏

(ローム株式会社 エグゼクティブ アドバイザー 技術顧問
(元常務取締役))

13:55 質疑応答

14:10 休憩

14:20 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」概要説明

相田 美砂子 広島大学 副学長(大学経営企画担当)



14:30 イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム:

インターンシップ実施対象者による報告

隅田 姿 (第1期) 広島大学大学院国際協力研究科 D2(受入先:ユネスコ UNESCO)

安原 大樹 (第1期) 広島大学大学院理学研究科 D3(受入先:(株)あじかん)

菅尾 英代 (第1期) 広島大学大学院教育学研究科 D2(受入先:国立教育政策研究所)

孟 令宇 (第1期) 広島大学特別研究員 グローバルキャリアデザインセンター

(受入先:オーストラリア研究機関 ARC CGSE)

15:10 テニユアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム:

コンソーシアム教員による報告

松本 舞 (第1期) 広島大学大学院文学研究科 助教

中川 雅央 (第1期) 広島大学大学院社会科学研究科 助教

SHANG Rong (第1期) 広島大学大学院理学研究科 助教

岡部 信広 (第1期) 広島大学大学院理学研究科 助教

原 裕貴 (第2期) 山口大学大学院医学系研究科(理学) 助教

若林 香織 (第2期) 広島大学大学院生物圏科学研究科 助教

17:00 全体討論

17:15 閉会挨拶 江坂 宗春 広島大学 副学長(学生支援担当)

17:20~18:50 情報交換会



主催：広島県立広島経済短期大学 科学研究センター（広島県立広島経済短期大学） 広島県立広島経済短期大学（広島県立広島経済短期大学） 広島県立広島経済短期大学（広島県立広島経済短期大学）

未来を拓く地方協奏プラットフォーム 第1回 成果報告会

平成27年7月3日(金)

時間・13:00~17:20

会場・広島大学中央図書館 ライブラリーホール (東広島キャンパス)

参加
無料

プログラム

- 12:30 開 場
- 13:00 開会挨拶 吉田 隆仁 広島大学 理事・副学長 (研究推進)
- 13:10 基調講演 「Business oriented Innovation」
高瀬 秀樹氏 コーム株式会社 エグゼクティブアドバイザー 技術顧問 (元専任講師)
- 13:40 質疑応答
- 14:10 休 憩
- 14:20 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」概要説明 相田 美紗子 広島大学 副学長 (大学経営企画推進)
- 14:30 イベント創出人材の実践的養成・活用プログラム/インターンシップ体験報告
藤田 遼 第1期/広島大学 大学院国際総合研究科 教育文化連携 博士課程修業2年
高瀬亮: エキスパート(JNESCO)
- 安藤 大樹 第1期/広島大学 大学院理学研究科 化学専攻 博士課程修業3年
高瀬亮: 株式会社あじふ
- 菅尾 美代 第1期/広島大学 大学院教育学研究科 文化教育連携専攻 博士課程修業2年
高瀬亮: 国立教育政策研究所
- 吉 竜宇 第1期/広島大学特別研究員 グローバルキャリアデザインセンター
高瀬亮: オーストラリア研究機関 ARC CGSE
- 15:10 テニユア・トラック専任による若手研究者の自立・流動促進プログラム/
テニユア・トラック教員による報告
松本 隆 第1期/広島大学 大学院文学研究科 助教
中川 麗央 第1期/広島大学 大学院社会科学研究科 助教
SHANG Rong 第1期/広島大学 大学院理学研究科 助教
岡部 信広 第1期/広島大学 大学院教育学研究科 助教
藤 博貴 第1期/広島大学 大学院医学系研究科 (理学) 助教
若林 香織 第1期/広島大学 大学院生物圏科学研究所 助教
- 17:00 全体討議
- 17:10 閉会挨拶 江坂 宗春 広島大学 副学長 (学生支援推進)
- 17:30 情報交換会
レストラン/ラ・ボエーム (広島大学学生数第1期) 参加費:3,000円 学生:1,500円



お申し込み方法 ①お名前 ②ご所属 ③職名(学年) ④情報交換会への参加・不参加
以上を明記の上:hiraku@hiroshima-u.ac.jpへメールをお送りください。

6/26金
締め切り

HIRAKU 未来を拓く地方協奏プラットフォーム事務局
〒739-8501 広島県東広島市鏡山2-1-1
広島大学グローバルキャリアデザインセンター (若手研究者支援担当)
URL: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/>
TEL: 082-422-6272 FAX: 082-424-4268 E-mail: hiraku@hiroshima-u.ac.jp

5-2. 第2回成果報告会

日時:2016(平成28)年2月5日(金) 13:00~17:15 (参加者:70名)

場所:広島大学中央図書館ライブラリーホール(東広島キャンパス)

プログラム:

13:00 開会挨拶 高田隆 広島大学理事・副学長(社会産学連携・広報・情報担当)

13:05 基調講演1 竹田裕彦氏 株式会社イズミ 人事部長 能力開発部長

13:35 基調講演2 鈴木榮一郎 広島大学グローバルキャリアデザインセンター客員教授

14:05 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」説明

相田美砂子 広島大学副学長(大学経営企画担当)

14:15 休憩

14:25 イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム:

インターンシップ実施対象者による報告

上川 修平(広島大学 先端物質科学研究科 D2) ▶ 戸田工業株式会社 山本一美氏

宮下 由里奈(広島大学 理学研究科 D2) ▶ エイキット株式会社 小竹祥悟氏

奥 正太(広島大学 特別研究員) ▶ 農業・食品産業技術総合研究機構 福永亜矢子氏

岡崎 泰幸(山口大学 理工学研究科 D1) ▶ 日本原子力研究開発機構 青柳 和平氏

Sarda Narendra Girish(徳島大学 先端技術科学教育部 D3) ▶ 三菱レイヨン株式会社 新納 洋氏

15:40 質疑応答1

15:55 休憩

16:05 テニュアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム:

コンソーシアム教員による着任報告

中島 祐子 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 助教

梶原 弘平 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 助教

谷原 史倫 徳島大学生物資源産業学部 助教

星野 由美 広島大学大学院生物圏科学研究科 助教

Lam Chi Yung 広島大学大学院工学研究院 助教

16:55 質疑応答2

17:10 閉会挨拶

17:30 情報交換会





主催：広島県立大学地域人材育成センター・広島県立大学地域連携推進センター
 共催：広島県立大学中央図書館・広島県立大学中央図書館
 後援：広島県立大学中央図書館・広島県立大学中央図書館

未来を拓く地方協奏プラットフォーム
 第2回 成果報告会

平成28年2月5日(日) 13:00~17:15
 (開場12:30)

参加無料

広島大学中央図書館 ライブラリーホール (広島県中野4-1-1)

Program

13:00	開会挨拶	高田 隆	広島大学 国際経営学部 社会連携推進部 部長 高田 隆
13:05	開会挨拶	竹田 裕彦	広島県立大学 地域連携推進部 部長 竹田 裕彦
13:35	開会挨拶	鈴木 新一郎	広島大学 国際経営学部 社会連携推進部 部長 鈴木 新一郎
14:05	【未来を拓く地方協奏プラットフォーム】開催説明	梶田 美砂子	広島大学 国際経営学部 社会連携推進部 部長 梶田 美砂子
14:15	休憩		
14:25	イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム/ インターンシップ実施対象者による報告		
	- 上川 輝平	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 上川 輝平	
	- 宮下 由理菜	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 宮下 由理菜	
	- 奥 正丈	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 奥 正丈	
	- 岡崎 敬俊	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 岡崎 敬俊	
	- 佐藤 健太郎	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 佐藤 健太郎	
15:40	休憩		
15:55	休憩		
16:05	テニュアトラック導入による若手研究者の自立・活動促進 プログラム / テニュア・トラック教員による責任報告		
	- 中野 祐子	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 中野 祐子	
	- 藤原 弘平	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 藤原 弘平	
	- 谷本 史樹	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 谷本 史樹	
	- 星野 山実	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 星野 山実	
	- Lam Chi Tung	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 Lam Chi Tung	
16:55	休憩		
17:10	開会挨拶	江坂 昭春	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 江坂 昭春
17:30	閉会挨拶	梶田 美砂子	広島大学 地域連携推進部 社会連携推進部 部長 梶田 美砂子

お申し込み方法
 お申し込みフォーム
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hiroku>
 から申し込みください。FTE50
 QRコードもダウンロードして、必要
 事項を記載してください。

お問い合せ
 未来を拓く地方協奏
 プラットフォーム運営事務局
 広島大学グローバルキャリア
 アドバンストセンター
 (理学部 4号館 402号室)
<http://hiroku.hiroshima-u.ac.jp/hiroku.html>
 TEL 082-424-4545 FAX 082-424-4546
 E-mail: hiroku@hiroshima-u.ac.jp

Access

5-3. 国際シンポジウム

「博士の挑戦」—グローバルな視点から地方創生と若手研究人材の役割を考える—

The image shows a detailed event poster and program for an international symposium and workshop. The main title is '博士の挑戦。2015 2/12・13 シェラトンホテル広島'. The poster is divided into two main sections: 2/12 Symposium and 2/13 Workshop. The symposium features three speakers: Janet Metcalfe, Emildo B. Rivera, and Michael Anthony Sarami. The workshop is titled '若手研究人材がキャリア開発ワークショップ' and '若手研究人材がキャリア開発ワークショップ'. The program includes a time schedule, a profile section for the speakers, and contact information for Hiroshima University.

日時:平成 27 年 2 月 12 日(木)13:00~17:00 (参加者:91 名)

場所:シェラトンホテル広島(美波)

プログラム:

13:00 開会挨拶

岡本 哲治(広島大学 理事・副学長(社会産学連携・広報・情報担当))

13:05 講演 1「我が国の科学技術政策と若手研究者を取り巻く現状」

片岡 洋 氏(文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課長)

13:25 講演 2「若手研究人材と地域振興」

大石 知広 氏(広島県商工労働局イノベーション推進部長)

13:45 講演 3「「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」が目指すもの」

相田 美砂子(広島大学 副学長(大学経営企画担当))

／グローバルキャリアデザインセンター副センター長)

14:05 基調講演 1

“Developing world class researchers”

Dr. Janet Metcalfe, Chair and Head, Vitae, UK (英国 Vitae)

14:45 基調講演 2

“The role of doctorates and young researchers in enhancing regional innovation”

Ms. Emilda B. Rivers, Program Director, National Science Foundation (米国国立科学財団、NSF)

15:15 基調講演 3

“PhD value: what is the doctorate for? Comparative responses from South Africa and Mauritius”

Dr. Michael A. Samuel, Professor, School of Education, University of KwaZulu-Natal, South Africa

(南アフリカクワズールー大学ネイトル)

15:45 パネルディスカッション

「魅力ある中四国地域の創生に向けて「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」は何ができるか」

パネリスト:

三池 秀敏 (山口大学)

野地 澄晴 (徳島大学)

Dr. Janet Metcalfe

Ms. Emilda B. Rivers

Dr. Michael A. Samuel

コーディネータ:

相田 美砂子 (広島大学)



17:05 閉会挨拶

江坂 宗春(広島大学 副学長(学生支援担当・グローバルキャリアデザインセンター長))

内容:コンソーシアム構成機関に所属する若手研究人材が、「知の創造」、「企業の課題解決」、「社会の課題解決」を担うイノベーター(変革者)として、自身の専門分野の枠を超えて果敢に「挑戦」し、社会の多様な場で活躍していくために必要な養成環境の在り方について、グローバルな視点から議論した。



6. DCやPDが積極的に関与する取組み

6-1. Vitae ワークショップ

6-1-1. トランスファラブルスキルワークショップ

日時:平成 27 年 2 月 13 日(金)10:00~16:30 (参加者:43 名)

場所:シェラトンホテル広島(美波)

プログラム:

10:00 ワークショップ1

若手研究者向けトランスファラブルスキル・ワークショップ(イントロダクション)

13:30 ワークショップ 2

若手研究者向けキャリア開発ワークショップ

内容:

英国 Vitae の Janet Metcalf 氏を講師として、若手研究人材向けトランスファラブルスキル・ワークショップ「社会の多様な場で活躍するために」と題して、ゲーム、グループ討論などを交えて、和やかな雰囲気ながら熱心な講義、話し合いが行われた。

午後のワークショップ 2 ではファシリテーターとして広島県立大学総合教育センター副センター長の原田淳氏、コーディネーターとして広島大学大学院工学研究院助教の杉川幸太氏、他に数名の多彩なキャリアを持つ講師を迎え、若手研究人材向けキャリア開発ワークショップ「多様な場で活躍する博士人材から学ぶ」と題して、若手研究者が自分のキャリア形成について考える良い機会となった。



6-1-2. Vitae 共同能力養成講座

講師：英国 Vitae より派遣

Dr Jennifer Allanson / Director, TupleSpace

Dr Chris Russell / Training and development consultant

I. 研究者の能力・キャリア開発を成功に導く「トレーナー養成セミナー」（参加者13名）

日時 2015年3月20日(金)9:30-17:00

場所 広島大学東広島キャンパス 総合科学研究科 M棟3階第1会議室

内容: 大学等教職員を対象とした1日研修で、計画策定、目標設定、トレーニングの実施、経験的学習およびトレーニングの評価における英国 Vitae の手法を紹介する。また参加者には下記の II. 研究者の能力・キャリア開発セミナー3科目のうちの1つを選び、1セミナー5名を上限として参加し、指導員を務める。

プログラム:

09:30 歓迎のあいさつと紹介、セッションのねらい

09:45 交流のため場を和ませる

10:15 目標設定

11:00 お試しセッション 1「研究者のための専門的能力開発セミナー」を紹介 (Vitae の研究者開発フレームワーク(RDF)、レンズ、RDF 活動カードの説明を含む)

昼食

13:30 お試しセッション 2「研究者のためのキャリア開発セミナー」あるいは「研究者のための開拓精神養成セミナー」を紹介。

15:30 学習の促進

16:30 次にすべきこと

II. 研究者の能力・キャリア開発セミナー（参加者述べ27名(中国地区)、37名(四国地区)）

① 研究者のためのキャリア開発セミナー

日時 2015年3月23日(月)9:30-17:00

場所 中国地区（広島大学東広島キャンパス 総合科学研究科 M棟3階第1会議室）

四国地区（徳島大学産学官連携プラザ3階「日垂ホール」）

内容: 博士課程学生及び若手研究者を対象とした1日研修。自らのキャリアの中で今自分がどういう段階にいるのか、そして自らの能力や関心がどうなのかをより明確に把握することができ、次のステップにはどのようなものがあるのか、また自分の希望が研究や学問を続けることなのか、それともその他の分野に進むことなのか、またどのようにしたら自分を事業者に一番うまく売り込めるのかについて考えることができるようになることを目的とする。

プログラム:

09:30 歓迎のあいさつと紹介、セッションのねらい

10:00 研究者の仕事

11:15 キャリアコンセプトの構築

昼食

13:30 フレームワークの提供

14:30 参加者のキャリアビジョン

16:00(続)参加者のキャリアビジョン

16:30 次にすべきこと

② 研究者のための専門的能力開発セミナー

日時 2015年3月24日(火)9:30-17:00

場所 中国地区 (広島大学東広島キャンパス 総合科学研究科 M棟3階第1会議室)

四国地区 (徳島大学産学官連携プラザ3階「日亜ホール」)

内容:博士課程学生及び若手研究者を対象とした1日研修。トレーニングのニーズ分析に取り組み、目標設定の方法を実践することで、自分の専門的能力の開発を管理でき、進捗状況を検討でき、さまざまな相手に専門的能力の証拠を示し、またその能力を効果的に伝えることができるようになることを目的とする。Vitaeの研究者開発フレームワーク(RDF)とRDF開発カードを用いて、参加者が重要な能力を特定し、優先順位を付け、評価するお手伝いをする。また参加者は個人のアクションプランを作成する。

プログラム:

09:30 歓迎のあいさつと紹介、セッションのねらい

10:00 専門的能力開発計画(PDP)の要点のまとめ

11:15 フレームワークの提供

12:00 優先順位付け:各種レンズ

昼食

13:30 優先順位付け:ベンチマーキング

14:30 証拠の組み立て

16:00 目標設定

16:30 次にすべきこと



③ 研究者のための開拓精神養成セミナー

日時 2015年3月25日(水)9:30-17:00

場所 中国地区 (広島大学東広島キャンパス 総合科学研究科 M棟3階第1会議室)

四国地区 (徳島大学産学官連携プラザ3階「日垂ホール」)

内容:博士課程学生及び若手研究者を対象にした1日研修。開拓姿勢や開拓能力は、創造性、革新性、そしてビジネス感覚を向上させ、研究者が研究する上で役立ち、高等教育機関での研究や教職、あるいはビジネス、産業界や公共部門における将来のどのようなキャリアにも役立つものである。開拓精神は研究者がどのようなキャリアの道を選んでも、独自の創造性を発揮し、職場に変化をもたらし、他者より抜きん出ることができるようなエンプロイアビリティ(雇用される能力)の基礎となる。VitaeのRDF開拓精神レンズを利用して、研究者が自分にとって重要な能力に焦点を絞れるようお手伝いする。

プログラム:

09:30 歓迎のあいさつと紹介、セッションのねらい

10:00 開拓精神とはどんなものか

11:15 開拓精神のある研究者とはどういうものか

11:45 自分にはどれくらいの開拓精神があるのか

昼食

13:30 自分の所属する組織にどのようにして付加価値を与えられるか

16:00 自分のキャリアの中でどのように開拓精神をもてるのか

16:30 次にすべきこと



6-1-3. Vitae-HIRAKU ワークショップ

The effective collaborative researcher

日時:平成 28 年 3 月 10 日(木)13:30~18:00 (参加者:27 名)

場所:広島大学 学生プラザ 4F 多目的室1・2(東広島キャンパス)

講師: Dr Janet Metcalf / 英国 Vitae

プログラム:

13:30 イン트로(ワークショップの目的)

14:00 成功する共同研究とは

15:15 休憩

15:30 自身の能力を見定め、根拠づける

17:00 次のステップへ



内容:若手研究者及び博士課程後期学生が自らのキャリアを開拓し、社会の様々な場で活躍できるよう支援しています。昨年度に引き続き、本年度も研究者のスキル・キャリア開発支援で先行する英国 Vitae から講師 Dr. Janet Metcalfe をお招きし、第2回英国 Vitae-HIRAKU ワークショップを開催しました。ワークショップ前半では、異なる分野の研究者と共同研究をするために必要な能力や性質とは何か、についてディスカッションを行いました。参加者には、Vitae の独自調査をもとに抽出された研究者に必要な 63 個の性質の中から、最も重要だと思うものを 10 個選択するなど、いくつかの課題が課せられました。さらにワークショップ後半では、参加者自身に焦点が当てられ、自分自身の強みは何か、また相手を納得させるためには自身の強みをどのように伝えれば良いのか、ということについて STAR テクニックという手法を用い実践練習が行われました。

6-2. 未来博士3分間コンペティション

大学院博士課程後期の学生が、3分間の限られた時間内に自身の研究ビジョンや魅力を、高校生にもわかるように伝える。学生のコミュニケーション力の向上を図ると同時に、社会における博士人材と博士研究に対する肯定的な理解の向上につながる。

日時:平成27年11月1日(日)

10:00~16:00 (参加者:306名)

場所:リーガロイヤルホテル広島
(ロイヤルルーム)

プログラム:

10:00 開会式 坂越 正樹
(広島大学 理事・副学長(教育・平和担当))

10:05 「HIRAKU のビジョン」
相田 美砂子(広島大学 副学長(大学経営企画担当))

10:10 科学界のインディ・ジョーンズ!長沼毅からの挑戦状
長沼 毅(広島大学学長特命補佐(広報担当)/大学院生物圏科学研究科教授)

10:20 3分間で未来を拓く!プレゼンテーション 博士課程後期学生 37名

13:40 1枚で未来を拓く!ポスターセッション作品展~交流会~

14:40 世界の扉をノックする!パネルディスカッション

モデレーター:長沼 毅

パネリスト: 柴藤 亮介 氏(アカデミスト株式会社・代表取締役)

山本 純 氏(大塚製薬株式会社・研究員)

長田 一美 氏(山口大学大学研究推進機構・産学コーディネーター)

杉川 康太(広島大学大学院工学研究院・助教)

15:30 審査発表

15:55 閉会式 江口 知之 氏(中国経済産業局・地域経済部長)





審査結果:

		所属	氏名
最優秀賞		鳥取大学 ※	田崎英祐
HIRAKU学長特別賞		広島大学	Sofya Suidasari
優秀賞		県立広島大学	三浦香織
		徳島大学	内田貴之
企業賞	大塚賞	広島大学	柴田紗知
	協和発酵バイオ賞	広島大学	小川貴史
	中外テクノス賞	立命館大学	森下高弘
	IBM賞	立命館大学	琉佳勲
	JSW日本製鋼所賞	広島大学	栗林龍馬
	マツダ賞	広島大学	木下拓矢
オーディエンス金賞		広島大学	苫野哲史
オーディエンス銀賞		鳥取大学	田崎英祐
		広島大学	河原太郎
		徳島大学	Sarda Narendra Girish

※鳥取大学大学院連合農学研究科(鳥取大学、山口大学、島根大学の連合)

6-3. 若手研究者シーズ発表会

若手研究者(D/PD)が企業や研究所に向けて研究(シーズ)を発表する機会である。若手研究者が社会のニーズを感じて社会とつながることを目的としている。

6-3-1. 第1回若手研究者シーズ発表会「健康と化学」

日時:

平成26年7月18日(金)13:00~17:15

場所:

県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま

参加者:計 104名

内訳 学外 64名(内 企業 29名・団体 23名・大学 12名)

学内 13名
発表者 15名
主催者 12名

プログラム:

13:00 開会挨拶

吉田 総仁

広島大学 理事・副学長(研究担当)

13:05 基調講演「若い研究者への期待」

岡本 哲治

広島大学理事・副学長(社会産学連携・広報・情報担当)／医歯薬保健学研究院 教授

13:35 シーズ発表 I



	氏名	所属	タイトル
1	宮良 政嗣	広島大学大学院 医歯薬保健学研究院(薬学)(D3)	わずかな細胞の変化から病気の原因を探る
2	深田 恵里	広島大学大学院 医歯薬保健学研究院(歯学)(D3)	口腔内圧測定による吸引・嚥下運動の解析
3	平川 翼	広島大学大学院 工学研究科(D1)	医療画像処理の課題に挑戦
4	田中 小百合	岡山大学大学院 環境生命科学研究科(D3)	紫外線予防のための新機能性成分の探索
5	上野 浩司	岡山大学大学院 保健学研究科(客員研究員)	新たな抗精神病薬の開発に向けて
6	河村 敦子	山口大学大学院 医学系研究科保健学系学域基礎看護学分野(助教)	高血圧予防・改善食の研究開発
7	高橋 仁	島根大学大学院 医学部医学科(助教)	低アレルゲンパン開発への挑戦

14:55 シーズ発表Ⅱ

	氏名	所属	タイトル
8	宇田 成利	広島大学大学院 医歯薬保健学研究科(薬学) (D3)	抗生物質生合成酵素を利用した創薬を目指す
9	竹下 八重	広島大学大学院 医歯薬保健学研究科(保健) (D3)	地域での医療看護 QOL を高める挑戦
10	芦原 聡介	広島大学大学院 理学研究科 (研究員)	結び目理論の生命科学他への応用の挑戦
11	平野 博大	広島大学大学院 工学研究科(D2)	医工連携: 血管粘弾性を利用した疼痛評価の実現
12	柴田 紗知	広島大学大学院 教育学研究科 (D1)	食品・栄養成分による高齢疾患予防
13	神本 真紀	広島大学大学院 生物圏科学研究科 (D3)	タンニンによる抗ノロウイルス効果
14	未廣 優加	鳥取大学大学院 連合農学研究科 (島根大学配属) (D1)	黄緑色系ブドウ‘シャインマスカット’の果皮褐変現象とポリフェノールの蓄積およびその関連遺伝子の発現
15	平林 諒	広島大学大学院 理学研究科 (D3)	細胞の分化解明から臨床応用への挑戦



15:35 関係機関 事業紹介

- ・独立行政法人 産業技術総合研究所 中国センター
- ・公益財団法人 ちゅうごく産業創造センター
- ・公益財団法人 ひろしま産業振興機構
- ・株式会社 広島銀行

15:55 閉会挨拶

江坂 宗春 広島大学 グローバルキャリアデザインセンター長

16:00 ポスター発表

17:30～19:00 情報交換会

6-3-2. 第2回若手研究者シーズ発表会「環境とエネルギー」

日時:平成 26 年 12 月 17 日(水)

13:00~17:00

場所:

県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま

参加者:計 123 名

内訳 学外 86 名(内 企業 39名・
団体26名・大学 21名)

学 内 7 名

発表者 15 名

主催者 15 名

プログラム:

13:00 開会挨拶

岡本 哲治 広島大学理事・副学長(社会産学連携・広報・情報担当)

13:05 「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業」の紹介

相田 美砂子 広島大学副学長(大学経営企画担当)



13:15 基調講演

「ゲノム編集技術を用いた環境・エネルギー問題への新規アプローチ」

野地 澄晴 徳島大学理事・副学長(研究担当)

13:45 シーズ発表

	氏名	所属	タイトル
1	青木 泰平	広島大学大学院 先端物質科学研究科 (D2)	アンモニア 新たな水素エネルギー貯蔵媒体
2	浅川 愛	徳島大学大学院 先端技術科学教育部 環境創生工学専攻生命テクノサイエンスコース (D3)	未利用木質バイオマスの総合的有用利用法の開発
3	Puteri Kusuma Wardhani	岡山大学大学院 環境生命学研究科 (D1)	くだものと野菜からのメタンガス発生に関する研究
4	政成 美沙	広島大学大学院 生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻 微生物機能学研究室 (D2)	蛋白質の安定化機構から生物の環境適応戦略に迫る
5	平儀野 雄斗	島根大学大学院 総合理工学研究科 D2	超低コスト照明装置を可能とする酸化亜鉛ナノ粒子塗布型紫外線発光ダイオードの開発
6	菅沼 学史	鳥取大学 工学部 附属グリーン・サステイナブル・ケミストリー研究センター (助教)	廃棄グリセリンから有用化学資源の創出
7	Noor Hisyam Noor Mohamed	徳島大学大学院 先端技術科学教育部 知的力学システム工学専攻 機械創造システム工学コース (D2)	ナノ繊維を用いたバイオコンポジット開発
8	松尾 薫	広島大学大学院 工学研究科 建築環境学研究室 (D1)	都市気候に配慮した都市づくりを支援するための都市環境気候地図の開発
9	陳 ナリソ	岡山大学大学院 環境生命学研究科 (D1)	GPS 測位と超音波測深による水底地形データ変動に関する研究
10	宮下 直	広島大学大学院 理学研究科 化学専攻 (特任助教)	福島復興に向けた汚染土壌の除染・減容技術の開発
11	門田 真樹	広島大学大学院 工学研究科 生産システム A 研究室 (D1)	複雑な関数において, より良い解を, より短い時間で探索する
12	金澤 康樹	島根大学大学院 総合理工学研究科 (D1)	車載用パワーエレクトロニクス機器の未来
13	上川 修平	広島大学大学院 先端物質科学研究科 低温物理学研究室 (D1)	高機能な磁性物質を開発するための新規アプローチへの挑戦
14	中島 真実	広島大学大学院 工学研究科 応用化学専攻有機材料化学研究室 (D1)	有機薄膜太陽電池への応用を目指した有機半導体材料の開発
15	川人 浩司	広島大学大学院 先端物質科学研究科 エネルギー機能物質研究室 (D2)	全固体リチウムイオン電池用負極材料の開発

15:05 関係機関事業紹介

- ・中国経済産業局
- ・中国経済連合会

- 一般財団法人四国産業・技術振興センター、四国地域イノベーション創出協議会
- 公益財団法人くれ産業振興センター
- 一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会

15:30 閉会挨拶

江坂 宗春 広島大学 グローバルキャリアデザインセンター長

15:40～17:00 ポスター発表

17:15～19:00 情報交換会

6-3-3. 第3回若手研究者シーズ発表会「計測と分析」

日時:平成27年7月9日(木)13:00~17:15

場所:

県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま

参加者:計 114名

内訳 学外 63名(内 企業 25名・
団体 23名・大学 13名・個人 2名)

学内 15名
発表者 23名
主催者 13名

プログラム

13:00 開会挨拶

坂越 正樹

広島大学理事・副学長(教育・平和担当)

13:05 基調講演

「21世紀の課題に挑戦するイノベーション
人材育成」

三池 秀敏 山口大学理事・副学長(学術研究担当)

13:25 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」概要説明

相田 美砂子 広島大学副学長(大学経営企画担当)

13:35 シーズ発表

HIRAKU 広島県立広島大学 広島県立広島工業大学 広島県立広島女子大学 広島県立広島経済大学 広島県立広島看護大学 広島県立広島医療技術専門学校 広島県立広島福祉専門学校 広島県立広島情報文化専門学校

第3回 若手研究者シーズ発表会
— 計測と分析 —

地方協会により地域の大学、行徳・自治体、研究機関、経済団体と連携し、
博士人材による発露の方々を対象にしたマッチング型のシーズ発表会を新たに実施する。

平成27年 **7月9日**(木)

時間・13:00~17:15
場所・県立広島大学サテライトキャンパスひろしま
501・502大会議室
(広島市中区大手町1丁目5-3 広島県民文化センター)

参加無料

プログラム

13:00 開会挨拶
13:05 基調講演「21世紀の課題に挑戦するイノベーション人材育成」
三池 秀敏 山口大学 理事・副学長(学術研究担当)

13:25 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」概要説明
相田 美砂子 広島大学 副学長(大学経営企画担当)

13:35 シーズ発表「計測と分析」中国四国地方の大学より20名

15:30 関係機関事業紹介
15:45 閉会挨拶
15:50 ポスター発表

情報交換会 17:30~19:00
志田ビュッフェ(御城町地下1階)
一般:4,000円/学生:2,500円

お申し込み方法
表紙裏面申込書にFAX,あるいはホームページ本文に必要事項を記入の上、
mirai-consortium@hiroshima-u.ac.jpまでお送りください。

申込締切 **6/29** 日

お問い合わせ
広島大学グローバルイノベーションセンター 広島県立広島経済大学
〒731-8585 広島市中区大手町1丁目5-3 TEL:082-424-4222 FAX:082-424-4298
mirai@mail.mirai-consortium@hiroshima-u.ac.jp URL: http://www.mirai-consortium.jp/

	氏名	所属	タイトル
1	永廣 卓哉	徳島大学大学院 先端技術科学教育部 化学機能創生コース (D1)	MCM-41系触媒の活性改善と各種分析 手法によるキャラクタリゼーション
2	呉 瓊	岡山大学大学院 自然科学研究科 生体 計測工学研究室 (助教)	人間の多感覚空間注意の脳機能に関 する研究
3	徳岡 大	広島大学大学院教育学研究科 教育人 間科学専攻 (D4)	複雑な構造を持つデータに対するベイズ 推定の可能性
4	猪村 剛史	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 生体環境適応科学研究室 (助教)	脳損傷モデルに対する神経幹細胞移 植とリハビリテーションの併用効果
5	中野 陽平	山口大学大学院医学系研究科 バイオ機 能高分子化学研究室 (D3)	リチウムイオン電池への応用を目指した 高分子固体電解質の開発
6	加藤 季晋	島根大学大学院総合理工学研究科 (M2)	窒素循環の中間体ヒドロキシルアミンとヒ ドラジンの分析方法の開発と現場への 適用
7	北 真人	広島大学大学院工学研究科	数値モデルと気象レーダーによる水災

		社会基盤環境工学専攻 (D2)	害予測システムの開発
8	梶山 慎太郎	山口大学大学院 理工学研究科 環境共生系専攻 (D2)	メタンハイドレートを含む砂の力学特性 および分解挙動
9	上枝 麻友	徳島大学歯科 かみあわせ補綴科(第二補綴科)(助教)	TNF- α による歯髄細胞の幹細胞化
10	深澤 賢宏	広島大学自然科学研究支援開発センタ ー生命科学実験部門 生命科学機器分 析部(研究員)	神経筋接合部形成における ADAM19 の意義と理学療法
11	押村 美幸	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス 研究部 ライフシステム部門物質変換化 学講座 (助教)	NMR スペクトルの多変量解析を用いた ポリ乳酸の立体規則性解析
12	宮下 由理奈	広島大学大学院理学研究科 数理分子生命理学専攻 (D2)	好塩性ジヒドロ葉酸還元酵素の構造と 機能に対する塩の効果
13	Bayissa Leta Danno	高知大学大学院人間自然科学研究科 応用自然科学専攻 (D3)	毒性の高い有機化合物の加溶媒分解 に及ぼす溶媒および溶存イオンの影響
14	石川 朋己	広島大学大学院理学研究科 分析化学研究室(D1)	レーザー捕捉・顕微分光法のエアロゾ ル微粒子系への応用
15	武田 尚子	鳥取大学 産学・地域連携推進機構 (プロジェクト研究員)	魚類に含まれるコンドロイチン硫酸の含 有量と組成分析
16	大塚 裕太	徳島大学大学院 薬科学教育部(D1)	医薬品結晶転移制御を目的とした赤外 スペクトルと多変量解析に基づく研究
17	中西 莉子	県立広島大学大学院 総合学術研究科 (M1)	2成分SAM膜電極上におけるイムノポ ソーム/電解発光によるインフルエンザ ウイルスの検出
18	Cagdas AKSU	岡山大学大学院自然科学研究科 産業創成工学専攻 (D2)	PREMIER 燃焼
19	吉田 知弘	山口大学大学院理工学研究科 物質工学系専攻 (D3)	非プロトン性の低分子ゲル化剤を基盤と したイオン液体ゲルの開発
20	水川 友里	広島大学大学院先端物質科学研究科 半導体集積科学専攻 (D2)	バイオミメティック・マイクロミラーの構築 と磁気マニピュレーション法

15:30 関係機関事業紹介

- ・国立研究開発法科学技術振興機構産学連携展開部先端計測グループ
- ・公益社団法人中国地方総合研究センター

15:45 閉会挨拶

江坂 宗春 広島大学 グローバルキャリアデザインセンター長



15:50 ポスター発表



17:30~19:00 情報交換会

6-3-4. 第4回若手研究者シーズ発表会「医療・健康と化学」

日時:平成27年11月30日(月)13:00~17:20

場所:県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま

参加者:計117名

内訳 学外 71名(内 企業 32名・団体26名・
大学 13名)

学内 6名
発表者 23名
主催者 17名

プログラム

13:00 開会挨拶

坂越 正樹 広島大学理事・副学長(教育・平和担当)

13:05

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」取り組み状況

相田美砂子 広島大学副学長(大学経営企画担当)



13:15 シーズ発表(第1部)

	氏名	所属	タイトル
1	浅枝 諒	広島大学大学院医歯薬保健学研究科保健学専攻運動器機能医科学研究室(D2)	三次元動作解析によって整形外科疾患の発症と進行を予防する
2	坂本 飛鳥	広島国際大学大学院 医療福祉科学研究科 医療工学専攻(D1)	3次元MRI画像を用いた骨盤形態の評価方法の検討
3	富本 悠公	山口大学大学院 理工学研究科 情報・デザイン工学系専攻(D1)	上肢障害者用食事支援ロボットの開発
4	スリア ビンティアリ	山口大学大学院 理工学研究科 応用分子生命科学系専攻(D2)	乾燥における機能性食品の製造プロセスの解析
5	許 祐菁	徳島大学大学院 先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻(D2)	種々の高分子反応で合成したメタクリル酸エステル共重合体のモノマー連鎖の解析
6	落葉 尚子	広島大学大学院 医歯薬保健学研究科生薬学(D1)	天然資源由来の抗リーシュマニア活性物質
7	新谷 薫	島根大学大学院 医学系研究科(D3)	高血圧症は皮膚の水分量とNa ⁺ , Cl ⁻ 濃度に依存するか:モデル動物を用いた比較検討
8	鈴木 絢子	山口大学大学院 医学系研究科 応用分子生命科学系 生命分子工学分野(学術研究員)	認知症を酵母で治す

9	川口 祐加	岡山大学大学院自然科学研究科化学工学専攻細胞機能設計学研究室(D2)	SRSF1-3 は、AID の核内への局在に貢献する
10	本間 和久	鳥取大学大学院医学系研究科機能再生医科学専攻(D1)	複数遺伝子搭載可能な人工染色体の開発
11	宮城 円	広島大学大学院教育学研究科教育人間科学専攻心理学分野(D1)	抑うつが自らの価値観に基づく意思決定に及ぼす影響

14:20 基調講演「広島大学の産学連携における様々な取り組み」

高田 隆 広島大学理事・副学長(社会産学連携・広報・情報担当)

14:40 シーズ発表(第2部)

	氏名	所属	タイトル
12	富田 知里	徳島大学大学院・栄養生命科学教育部・人間栄養科学専攻・生体栄養学分野(D1)	がん分子標的薬(血管新生阻害薬)の潜在的問題点の解明と新しい治療法への展開
13	清水 太郎	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 総合薬学研究推進室(特任助教)	脾臓辺縁帯 B 細胞を標的とした新規がんワクチンの開発
14	星 賢治	広島国際大学大学院 医療福祉科学研究科 医療工学専攻(D3)	軟部組織滑走不全改善によるマル・アライメントに対する徒手組織間リリースの効果検証
15	内田 貴之	徳島大学大学院・栄養生命科学教育部・人間栄養科学専攻・生体栄養学分野(D1)	無重力による筋細胞内シグナル・トランスダクション
16	渡邊 大輝	広島大学大学院総合科学研究科(D2)	筋内グルタチオン量を高めることによって長期にわたる筋疲労が軽減されるか?
17	重藤 元	広島大学グローバルキャリアデザインセンター(サステナブル・ディベロップメント実践研究センター)(特別研究員)	生細胞から分泌されるインスリンの連続測定法開発
18	山本 清威	徳島大学大学院 薬科学教育部 医薬品情報学分野(D3)	PKC δ シグナル抑制化合物によるグルカゴン分泌抑制効果
19	梶川 正人	広島大学グローバルキャリアデザインセンター(広島大学原爆放射線医科学研究所ゲノム障害医科学センター 再生医科学部門)(特別研究員)	新規血管内皮機能測定法の開発 EncloseD Zone Flow-MeDiateD VasoDilation (ezFMD)の有用性
20	古川 翔大	山口大学大学院 理工学研究科 自然科学基盤系専攻(D3)	IVUS 法を用いた冠動脈プラークの組織性状判別
21	中尾 真理	徳島大学大学院 栄養生命科学教育部 人間栄養科学専攻 臨床栄養学分野(D3)	栄養療法の科学的エビデンスの構築を目指して

15:35 関係機関事業紹介

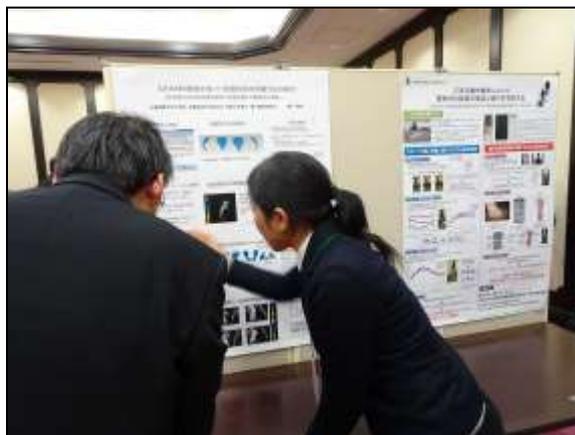
・日本医療機器産業連合会 医療機器政策調査研究所

・JST イノベーション拠点推進部地域イノベーショングループ

15:50 閉会挨拶

石川 幸秀 広島大学 副理事(社会連携担当)

16:00 ポスター発表



6-4. ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム

融合領域研究の英語による口頭発表で構成するナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウムを開催している。英語による口頭発表をした学生のうち、一般参加者の投票により、The Best Student Presentation Award と Student Award を授与している。

6-4-1. The 11th Nano Bio Info Chemistry Symposium

開催日: 2014(平成26)年12月13日(土)

場所: 広島大学学士会館レセプションホール(東広島キャンパス)

一般講演: 23件 (内: 学生の発表19)

参加者: 79名

学生賞:

参加者(学生は除く)の投票により、上位3名にThe Best Student Presentation Awardが、3名にStudent Awardが授与された。

The Best Student Presentation Award(3名)

Fumiya Morishima (D2)

“18-crown-6···benzenediol complex: changing of the S1 lifetime accompanied by structural modification”

Jing Wang (D2)

“Getting insight into the role of the active site C113 of Pin1 by mutagenesis and NMR analysis”

Kouhei Nadamoto (M1)

“Supramolecular polymer based on tetrakisporphyrin and its structural reorganization by host-guest complexation”

Student Award(3名)

Shogo Morisako (M2)

“Attempts at Regioselective Deprotonations with Organometallic Derivatives of Newly Prepared 2,6-Bis(cyclohexyl)piperidine”

Fang Xaio (M2)

“A study on the condensation growth processes of single aerosol droplets by means of a laser trapping”

Masataka Sumida (D1)

“The multichannel photodissociation dynamics of nitromethane studied by the state-resolved ion imaging”

6-4-2. *The 12th Nano Bio Info Chemistry Symposium*

開催日: 2015 (平成27) 年12月5日 (土)

場所: 広島大学理学部大会議室 (東広島キャンパス)

一般講演: 14件 (内: 学生の発表11)

参加者: 63名

学生賞:

参加者 (学生は除く) の投票により, 上位1名にThe Best Student Presentation Awardが³, 2名にStudent Awardが授与された。

The Best Student Presentation Award (1 名)

Masataka Sumida (D2)

“Dynamics study of multiple product pathways in the photodissociation of nitromethane”

Student Award (2 名)

Kengo Miyamoto (research student)

“Theoretical study on many-body effect of interactions between nucleobases in B-DNA”

Kaho Suzuki (M1)

“pH-responsive fluorescence behavior of graphene quantum dots”

7. 実践プログラム

博士課程学生(前期を除く)及び若手研究員(PD)を対象に、新分野に挑戦する活力のある研究人材の育成を目的として、「実践プログラム」を提供している。「実践プログラム」は、広島大学の大学院共通授業科目から構成している。

7-1. 実践プログラムの構成

それぞれのプログラムの、広島大学内の連携先及び内容の概略を次に示す。

	プログラム名	広島大学内の連携先	内容
実務コアコース	実務キャリアプログラム	グローバルキャリアデザインセンター	社会人基礎力の向上と、ビジネススキルの基礎を学ぶ
	英語コミュニケーションプログラム	外国語教育研究センター	自身の研究内容を分かり易く英語で書く・伝えるスキルを学ぶ
	MOT教育プログラム	工学研究科	ケースメソッドを通して、企業実務や経営など専門的な技術経営を学ぶ
イノベーション研究コース	融合領域研究プログラム	理学研究科等 量子生命科学プロジェクト研究センター	5研究科共同セミナー(※) 物質科学, 生命科学, 情報科学を基盤とする融合領域研究の基礎を学ぶ
	異分野研究支援プログラム	グローバルキャリアデザインセンター 量子生命科学プロジェクト研究センター	コンソーシアム人材セミナー, ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム, 若手研究者シーズ発表会
	企業派遣プログラム	グローバルキャリアデザインセンター	民間企業等での2ヶ月以上のインターンシップとそれに係る事前研修。事後研修(成果報告会)。

※「5研究科共同セミナー」は、広島大学の自然科学・技術系研究科(総合科学, 理学, 工学, 先端物質科学, 生物圏科学の「5研究科」)において開催される学術講演やセミナー等を、15回以上の出席により、単位を合否で認定するものである。

7-2. 実務コアコース（平成26年度）

実務能力の基礎を身につけることを目的としている。平成26年度に、大学院の正規科目として開講した授業科目及び開講部局を次に挙げる。

7-2-1. 実務キャリアプログラム

講義名	担当教員名	時期	曜日時限	場所
実務マネジメント	相田 美砂子	後期	集中	VBL204
リーダーシップ手法	相田 美砂子	後期	集中	VBL204
人文社会系キャリアデザインⅠ (キャリア理論)	森 玲子	前期	集中	別途指示
人文社会系キャリアデザインⅡ (キャリア開発)	森 玲子	前期	集中	別途指示
人文社会系キャリアデザインⅠ (キャリア理論)	森 玲子	後期	集中	別途指示
人文社会系キャリアデザインⅡ (キャリア開発)	森 玲子	後期	集中	別途指示
理工系キャリアデザイン1(コミュニケーション、プレゼンテーション)	原田 淳	前期	集中 9/8-9/9	総科 J206
理工系キャリアデザイン2 (ファシリテーション)	原田 淳	前期	集中 9/10-9/11	総科 J206
ストレスマネジメント	原田 淳	後期	木 9.10	総科 K112

7-2-2. 英語コミュニケーションプログラム

講義名	担当教員名	時期	曜日時限	場所
アドバンスト・イングリッシュⅠ	前田 啓朗	前期	火 7・8	総 J102
アドバンスト・イングリッシュⅠ	森田 光宏	前期	水 9・10	総 J209
アドバンスト・イングリッシュⅠ	阪上 辰也	前期	木 7・8	総 J102
アドバンスト・イングリッシュⅠ	森田 光宏	後期	火 9・10	総 J102
プレ・アカデミック・イングリッシュⅡ	鬼田 崇作	前期	火 7・8	総 J307
プレ・アカデミック・イングリッシュⅡ	前田 啓朗	前期	水 9・10	総 J102
プレ・アカデミック・イングリッシュⅡ	前田 啓朗	前期	木 7・8	総 L307
プレ・アカデミック・イングリッシュⅡ	鬼田 崇作	後期	火 9・10	総 J307

7-2-3. MOT 教育プログラム

講義名	担当教員名	時期	曜日時限	場所
ベンチャー起業論(MOT-1)	伊藤孝夫	前期	火 9・10	工 107
技術戦略論(MOT-2)	伊藤孝夫	後期	水 7・8	工 107
知的財産及び財務・会計論(MOT-3)	伊藤孝夫	後期	水 7・8	工 220
技術移転論(MOT-4)	山本 透	前期	水 9・10	総 K107
Management of Technology for Innovation(MOT-E1)	伊藤孝夫	前期	火 5・6	VBL204
Technology Transfer(MOT-E2)	山本 透	前期	集中	VBL204

7-3. イノベーション研究コース（平成 26 年度）

実務能力の基礎を身につけることを目的としている。平成26年度に、大学院の正規科目として開講した授業科目及び開講部局を次に挙げる。

7-3-1. 融合領域研究プログラム

授業科目名	主担当	開講部局	開講学期	曜日時限
理学融合基礎概論	圓山 裕	理学研究科	前期	月 5・6
プロテオミクス実験法・同実習	泉 俊輔	理学研究科	前期	集中
5研究科共同セミナー(※)		5研究科 (※)		

※広島大学の自然科学・技術系研究科(総合科学, 理学, 工学, 先端物質科学, 生物圏科学の「5 研究科」)において開催される学術講演やセミナー等を, 15 回以上の出席により, 単位を合否で認定する。

7-3-2. 異分野研究支援プログラム

- (1) コンソーシアム人材セミナー (第8章に詳細を記載)
連携企業等より講師を招き、求める人材像や研究内容等を紹介していただく。
- (2) 若手研究者シーズ発表会 (第6章に詳細を記載)
若手研究者が、独自の研究を発表する。
企業等との共同研究の推進及びインターンシップのマッチングを図る。
平成26年7月18日(金) 第1回(健康と化学)
平成26年12月17日(水) 第2回(環境とエネルギー)
- (3) ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム (第6章に詳細を記載)
英語での発表・質疑応答

7-3-3. 企業派遣プログラム

(第4章に詳細を記載)

7-4. 実務コアコース (平成 27 年度)

7-4-1. 実務キャリアプログラム

講義名	担当教員名	時期	曜日時限	場所
リーダーシップ手法 -キャリア開発の視点から-	三須 敏幸	第1ターム	水 5・6	西図書館グループ 閲覧室 104
実務マネジメント -キャリア開発の視点から-	三須 敏幸	第3ターム	水 5・6	西図書館グループ 閲覧室 104
人文社会系キャリアデザインⅠ (キャリア理論)	森 玲子	前期	集中	別途指示
人文社会系キャリアデザインⅡ (キャリア開発)	森 玲子	前期	集中	別途指示
人文社会系キャリアデザインⅠ (キャリア理論)	森 玲子	後期	集中	別途指示
人文社会系キャリアデザインⅡ (キャリア開発)	森 玲子	後期	集中	別途指示
理工系キャリアデザイン1 (コミュニケーション、 プレゼンテーション)	原田 淳	前期	集中 9/7-9/8	総科 J206
理工系キャリアデザイン2 (ファシリテーション)	原田 淳	前期	集中 9/9-9/10	総科 J206
ストレスマネジメント	原田 淳	後期	木 9・10	総科 K306

7-4-2. 英語コミュニケーションプログラム

講義名	担当教員名	時期	曜日時限	場所
アドバンスト・イングリッシュⅠ	森田 光宏	前期	火 9・10	総 J209CALL
アドバンスト・イングリッシュⅠ	阪上 辰也	前期	木 7・8	総 J307CALL
アドバンスト・イングリッシュⅠ	阪上 辰也	前期	木 9・10	総 J307CALL

アドバンスト・イングリッシュ I	森田 光宏	後期	火 9・10	総 J209CALL
プレ・アカデミック・イングリッシュ II	鬼田 崇作	前期	火 9・10	総 J102CALL
プレ・アカデミック・イングリッシュ II	上西 幸治	前期	木 7・8	総 J102CALL
プレ・アカデミック・イングリッシュ II	山本 五郎	前期	木 9・10	総 J102CALL
プレ・アカデミック・イングリッシュ II	阪上 辰也	後期	火 9・10	総 J307CALL

7-4-3. MOT 教育プログラム

講義名	担当教員名	時期	曜日時限	場所
MOT とベンチャービジネス論 (MOT-1)	伊藤 孝夫	第 1 ターム	火・金 7・8	工 103
技術戦略論 (MOT-2)	伊藤 孝夫	第 4 ターム	火・金 7・8	工 111
知的財産及び財務・会計論 (MOT-3)	伊藤 孝夫	第 3 ターム	火・金 7・8	工 111
技術移転論 (MOT-4)	伊藤 孝夫	第 2 ターム	火・金 7・8	総 K107
MOT and Venture Business (MOT-E1)	伊藤 孝夫	第 2 ターム	火・金 9・10	VBL203
Technology Transfer (MOT-E2)	伊藤 孝夫	前期	集中 8/18-8/21	VBL203

7-5. イノベーション研究コース（平成 27 年度）

7-5-1. 融合領域研究プログラム

講義名	担当教員名	開講部局	時期	曜日時限
5 研究科共同セミナー		総合科学、理学、工学、先端物質科学、生物圏科学	前後期	
理学融合基礎概論 B	圓山 裕	理学研究科	後期	月 5・6
プロテオミクス実験法・同実習	泉 俊輔	理学研究科	前期	集中

7-5-2. 異分野研究支援プログラム

(1) コンソーシアム人材セミナー（第 8 章に詳細を記載）

連携企業等より講師を招き、求める人材像や研究内容等を紹介していただく。

(2) 若手研究者シーズ発表会（第 6 章に詳細を記載）

若手研究者が、独自の研究を発表する。

企業等との共同研究の推進及びインターンシップのマッチングを図る。

平成27年7月9日(木) 第3回(計測と分析)

平成27年11月30日(月) 第4回(医療・健康と化学)

(3) ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム (第6章に詳細を記載)

英語での発表・質疑応答

第12回 2015年12月5日(土) 理学部大会議室

7-5-3. 企業派遣プログラム

講義名	担当教員名	時期	曜日時限	場所
長期インターンシップ	三須 敏幸	通年	集中	別途指示

(第4章に詳細を記載)

8. コンソーシアム人材セミナー

主に企業の研究開発部署で活躍している方々や人事担当者から、最新の研究開発動向や人材活用の状況を学ぶことを目的としている。

第1回 in 広島	2015年 2月2日(月) 14:30-17:00	スチール研究所の業務紹介と人材育成について	JFEスチール(株)研究企画部 主任 部員 菊池 直樹 氏
第2回 in 徳島	2015年 3月4日(月) 14:30-17:00	大塚製薬株式会社のダイバーシティ推進について	大塚製薬(株)人事部 徳島駐在常務執行役員 鳥取 桂 氏
第3回 in 山口	2015年 3月17日(火) 14:30-17:00	ナカシマグループにおける開発事例について	ナカシマメディカル(株) 代表取締役 社長 中島 義雄 氏
第4回 in 広島	2015年 4月24日(金) 14:30-17:00	企業で即戦力となるために ～ニッポンハムグループの 研究業務と求められる人材像～	日本ハム株式会社中央研究所 研究員 河口 友美 氏
第5回 in 広島	2015年 7月10日(金) 13:00-15:00	理系の就活・コミュニケーションの強み と弱み	日刊工業新聞社 論説員 兼 編集 局科学技術部編集委員 山本 佳世 子 氏
第6回 in 広島	2015年 8月7日(金) 14:30-17:00	博士課程修了者の強み ～研究内容を業務に活かす術とは～	コベルコ建機(株)グローバルエンジ ニアリングセンター 生産設計部 整 備系設計グループ 平原 篤 氏
第7回 in 山口	2015年 9月4日(金) 15:30-17:30	めざせ 長州発グローバルイノベーション 「シリコンバレーから学び、自分の 研究でグローバルイノベーションを起こ そう！」	(株)モリワカ 専務取締役 森若 ジョン幸次郎 氏 他
第8回 in 徳島	2015年 9月14日(月) 10:00-11:30	ロボット未来予想図～ Cloud Robotics への動き	Innovation Matrix, Inc. CEO 大永 英明 氏
第9回 in 広島	2015年 10月21日(水) 14:30-16:40	未来予想から考える21世紀のイノベー ション像 – 繊維材料技術・産業の歴 史を手掛かりにして–	三菱レイヨン(株)研究企画推進、研 究指導、CSR担当 細川 宏 氏
		スポーツを通じた異文化交流 (果てしなき挑戦に向けて)	スマート・シールド・インターナシヨナ ル 代表取締役 大河内 博 氏

第10回 in広島	2015年 10月30日(金) 14:30-16:30	産学連携とイノベーション ーライフサイエンス企業の研究現場、 先端分析科学とタンパク質研究など ー	味の素(株) 元 上席理事 鈴木 榮一郎 氏
第11回 in広島	2015年 11月9日(月) 14:30-17:00	素材には、社会を変える力がある ～東レの仕事紹介～	東レ(株) 人事部人事採用課長 河原 建策 氏
第12回 in徳島	2015年 11月20日(金) 14:00-16:00	新しい働き方の創造ークラウドソーシ ングの誕生と働き方の変化	ランサーズ(株)社長室 地方創生チ ーム 篠原 智美 氏
第13回 in広島	2015年 12月10日(木) 14:30-17:00	当社の会社紹介と商品開発事情、期 待する人材像	フマキラー(株)管理本部 取締役管理本部長 佐々木高範氏
第14回 in山口	2016年 1月21日(木) 15:00-17:00	健康を育てる・健康を科学する	(株)秋川牧園 会長 秋川 実 氏
第15回 in徳島	2016年 1月14日(木) 16:30-17:30	学術系クラウドファンディング 最先端研究の「ワクワク」「ドキドキ」をあ なたにおすそわけ	アカデミスト(株)代表取締役 柴藤 亮介氏
第16回 in広島	2016年 2月3日(水) 14:30-17:00	「三菱総合研究所」って何?どんな集 団?にお答えします!	(株)三菱総合研究所 人事部 主事 糟谷英之氏
第17回 in広島	2016年 3月9日(水) 14:30-17:00	「NECの消防防災事業の取り組みと 求める人材について」	日本電気(株)交通都市基盤事業部 グローバルビジネス推進部 シニア エキスパート岸田 温 氏

第1回 in 広島 (参加者17名)

参加者の感想・意見

広島大学「未来を拓く地方協働プラットフォーム」 科学技術人材育成推進事業「科学技術人材育成のコンソーシアム」の連携事業「企業研究開発者育成プログラム」

広島大学「未来を拓く地方協働プラットフォーム」

科学技術人材育成推進事業「科学技術人材育成のコンソーシアム」の連携事業「企業研究開発者育成プログラム」

参加無料

第1回コンソーシアム人材セミナー in 広島

「スチール研究所の業務紹介と人材育成について」

平成27年 2月2日(月)

セミナー 14:30~16:00
懇談会 16:10~17:00

会場:東広島キャンパス
先端物質科学研究科
401N 講義室

講師:菊池 直樹氏
(JFEスチール株式会社
研究企画部 主任幹員)

JFEスチール株式会社

【所在地】 本社:東京都千代田区内幸町2-3-3
夏日本製鉄所:千葉、宮城
加多製造所
南日本製鉄所:愛知、福山

【資本金】 1,000億円

【従業員数】 13,770人(東証1)、42,500人(連結)

【事業内容】 鉄鋼の製造、加工および販売

★申込方法:1.第1回 2.名前 3.所属 4.学年(職名) 5.懇談会への参加・不参加を明記して、下記「申込み・問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。 申込締切:1月30日(金)

★申込み・問い合わせ先★
広島大学グローバルキャリアデザインセンター (組織 幹事・庶務)
E-mail : wakateyusai@office.hiroshima-u.ac.jp TEL : 082-424-4764
URL : http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyusai/

・研究職に興味があり重点的に講演を聞いていたが、専門分野を深く説明するのではなく、概要を大学生が気になるところを中心に話してくださったので、分かりやすかった。(先端物質科学研究科 量子物質科学専攻 男性)

・私は、共同セミナーのレポートを提出するために参加しました。分野は違う内容の講演でしたが、自分が普段触れることのないことを知識として取り込みました。鉄鋼業のような工学的な企業は製造ライン、分析、開発などの連携がとても優れていて効率のプロフェッショナルでもあると感じました。(生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻 男性)

第2回 in 徳島 (参加者52名)

概要

HIRAKU

科学技術人材育成のコンソーシアムの連携事業「企業研究開発者育成プログラム」

参加無料

TV会議システム

第2回コンソーシアム人材セミナー in 徳島

「大塚製薬株式会社のダイバーシティ推進について」

平成27年 3月4日(水)

セミナー 14:30~16:00

会場:広島大学
学生プラザ 4階
多目的室1・2

講師:鳥取 桂氏
大塚製薬株式会社
人事総務部長(研究・生産推進)
常務執行役員 総務

大塚製薬株式会社

【所在地】 本社:東京都千代田区錦糸町2-9

【資本金】 2,000億円

【従業員数】 6,821人(2014/12/31現在)

【事業内容】 医薬品・医薬品検査・医薬情報・食料品・化粧品等の製造、製造販売、販売、輸出並びに輸入

【事業所】 実店舗17ヶ所(併用60)

【研究部門】 5の部(17部門) 1工場17カ所

★申込方法:1.第2回 2.名前 3.所属 4.学年(職名)を明記して、下記「申込み・問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。 申込締切:3月2日(火)

★申込み・問い合わせ先★
広島大学グローバルキャリアデザインセンター (組織 幹事・庶務)
E-mail : wakateyusai@office.hiroshima-u.ac.jp TEL : 082-424-4764
URL : http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyusai/

大塚製薬株式会社常務執行役員の鳥取桂氏をお招きし、大塚製薬株式会社のダイバーシティの考え方、取組等についてご講演いただきました。学生を中心とした参加者は、セミナーでは、鳥取氏の説明に熱心に耳を傾けるとともにセミナーに引き続いて行われた懇談会では、参加者が次々、鳥取氏に質問したため、予定していた時間をオーバーするほど盛況でした。

第3回 in 山口 (参加者40名)

概要

第3回コンソーシアム人材セミナー in 山口
ナカシマグループにおける開発事例について

講師 中島 義雄 氏 (ナカシマメディカル代表取締役社長)
 【経歴プロフィール】
 1955年 岡山県生まれ
 1980年 東京大学工学部(機械工学科)卒業
 1981年 オリンパ光学(株)工学(3年間)
 1982年 東京大学大学院工学系研究科(機械工学)専門課程卒業
 1983年 住友重工業株式会社 入社
 1989年 ナカシマアロハ株式会社 入社
 1995年 ナカシマアロハ株式会社 専務取締役(～現在)
 2011年 株式会社システムズアカシア 代表取締役社長(～現在)
 2015年 ナカシマホルダングス株式会社 専務取締役(～現在)
 ナカシマメディカル株式会社 代表取締役社長(～現在)

日時 平成27年3月17日(火)
 14時30分～16時
 16時30分～交流会(招待者専用)

場所 山口大学工学部 D31 講義室
 (山口大学学務課舎3-16-1)

【コンソーシアム人材セミナーとは】
 主として貴校講師の大学院やこれから博士後進課程を希望する修士、ポスト卒を対象にして、会社における研究開発の内幕、会社の研究開発の内幕、企業はどのような人材を求めているのか、企業の人材育成に際して、企業人にお話をしてもいい、研究者を目標とする学生・院生のキャリアパス形成に参考になります。
 大学側担当教員並びに大学院生等も参加しての学部学生の参加も歓迎します。

参加無料

HIRAKU 科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
 「企業研究開発プログラム」

3月17日(火)、常盤キャンパスのD31講義室に於いて、「第3回コンソーシアム人材セミナー in 山口」を開催しました。古賀理事の開会挨拶の後、山口大学工学部の山本教授から山口大学の取り組み紹介、広島大学三須教授から広島大学の取り組み紹介があり、続いて、株式会社ナカシマメディカル代表取締役社長の中島義雄氏から「ナカシマグループにおける開発事例について」という演題で、約1時間の講演がなされました。ナカシマグループの生い立ち、メディカル分野に進んだきっかけ、市場との競合関係、ヒット商品の海外での価値、会社からの社会人博士課程学生の派遣などについて懇切に説明がなされました。

第4回 in 広島 (参加者59名)

参加者の感想・意見

HIRAKU 広島大学
 【企業を広く地方協賛プラットフォーム】 科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業「企業研究開発プログラム」

大学側生・ポスト卒のための
第4回コンソーシアム人材セミナー in 広島
**「企業で即戦力となるために
 ～ニッポンハムグループの
 研究業務と求められる人材像～」**

平成27年 **4月24日(金)** **本セミナーは研究開発の
 セミナーの集まりではありません**

セミナー 14:30～16:00
 懇談会 16:10～17:00
**会場: 東広島キャンパス
 生物圏科学研究科 C314 講義室**

講師: 河口友美 氏
 (日本ハム株式会社中央研究所 研究員)

日本ハム株式会社
 【所在地】 大阪府北区南堀二丁目4番9号 プリーゼタワー
 【東広島】 297-8602 広島県 東広島市 西条町 1-1-1
 【従業員数】 東広島 427人、グループ合計 35,142人
 (2014年2月31日現在)
 【グループの主な事業】
 食肉加工品の製造・販売(主に肉類の冷凍・生肉・生肉のほか、牛、豚、鶏、魚介類、食品製造、スナック等事業等幅広く展開)

★申込方法: 1. 第4回 2. 名前 3. 所属 4. 学年(職名) 5. 懇談会への参加/不参加を明記して、下記「申込み-問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。 申込締切: 4月23日(木)

※申し込み・問い合わせ先
 広島大学グローバルキャリアデザインセンター (企画 研習)
 E-mail: wakajiyu@ipc@ipc.hiroshima-u.ac.jp TEL: 083-424-0664
 URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakajiyu/

・私も企業の研究者となって社会に貢献したいので、自分の将来像と重なり、とても興味深かった。目指しているものの姿がはっきりして、より憧れが強くなった。(生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻 女性)

・ドクターを取得した研究者がどのような生活、院生時代を過ごしていたのかが分かって、自分が今後どのように実験して、どのように考えるべきかを考えることができ、進路などにつながると思った。(生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻 女性)

・社会人ドクターに興味があり、実際にそのようなキャリアを積んでいる方の話を聞くことができ非常に満足した。企業での研究の実態を知ることができたのもよかった。(生物生産学部 生物生産学科 男性)

第5回 in 広島 (参加者62名)

参加者の感想・意見

HIRAKU 広島大学
【卒業生向け地方連携プラットフォーム】
【理学部・工学部・農学部・経済学部・国際文化学部・環境学部】

大学側主催・ボスドクを中心とした
第5回コンソーシアム人材セミナー in 広島

「理系の就活・コミュニケーションの強みと弱み」

平成27年 **7月10日(金)**

セミナー 13:00~14:10
懇談会 14:15~15:00

会場:東広島キャンパス
総合科学研究科M棟3階第1会議室

講師:山本 佳世子氏
(日刊工業新聞社 編集委員 兼 編集局科学技術情報編集委員)

日刊工業新聞社

【所在地】東京都中央区日本橋4丁目14-1
【営業時間】9:00~18:00
【定員】400名(2014年4月1日現在)
【事業内容】
新聞発行、出版、電子メディア、イベント(企画・編集)。
工業のイメージが強いが、取り上げる業界は流通・サービス・運輸・科学技術・金融・教育・農業・行政・官公庁が幅広い。各企業の経営にも関心し、地方の多くの企業や新しいベンチャー企業について取り上げる。

*申込方法:1.第5回 2.名前 3.所属 4.学年(職名) 5.懇談会への参加/不参加を明記して、下記「申込み・問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。 申込締切:7月10日(金)

申込み・問い合わせ先
広島大学グローバルキャリアデザインセンター(総務・企画・課)
E-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp TEL: 082-424-4564
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/

・「文系」と「理系」の違いから「理系」の就活での攻め方があるといった内容のセミナーは新鮮だった。
(生物圏科学研究科 男性)

・「専門性を持ちつつ異分野とつながる」という言葉にハッとしました。(理学研究科 女性)

第6回 in 広島 (参加者31名)

参加者の感想・意見

HIRAKU 広島大学
【卒業生向け地方連携プラットフォーム】
【理学部・工学部・農学部・経済学部・国際文化学部・環境学部】

大学側主催・ボスドクを中心とした
第6回コンソーシアム人材セミナー in 広島

博士課程修了者の強み ~研究内容を業務に活かす術とは~

平成27年 **8月7日(金)**

セミナー 14:30~16:00
懇談会 16:10~17:00

会場:東広島キャンパス
工学研究科
A1-141中会議室

講師:平原 篤氏
(コベルコ建設株式会社
グローバルエンジニアリングセンター
生産設計部 設備系設計グループ)

コベルコ建設株式会社

【所在地】〒730-0851 東京都港区東新井3-17-1
広島支社 広島市南区南大谷5-1-1
【営業時間】9:00~18:00
【定員】110名(グローバルセンター) 2015年4月1日現在
【事業内容】建設機械、建設機械の部品、部品及びサービス

*申込方法:1.第6回 2.名前 3.所属 4.学年(職名) 5.懇談会への参加/不参加を明記して、下記「申込み・問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。 申込締切:8月7日(金)

申込み・問い合わせ先
広島大学グローバルキャリアデザインセンター(総務・企画・課)
E-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp TEL: 082-424-4564
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/

・博士課程へと進学し、修士までとは大きく異なる研究職への就職を考えていたが、開発・設計職における博士の役割を見出すことができ参考になった。(工学研究院 輸送・環境システム専攻 男性)

・大学での研究と企業の業務の違いが理解できた。博士課程に進むのはこれからだが、どうやって研究していくべきか、ヒントを得た。(工学研究院 システムサイバネティクス専攻 研究性 男性)

・企業の上司が期待することや、大学で学んだ知識をどう業務に活かすかのか等、今後企業に就職した際、参考になることを聴けて良かった。また講演された会社の雰囲気にも好印象を持った。(工学研究院 システムサイバネティクス専攻 男性)

第7回 in 山口 (参加者70名)

概要

第7回コンソーシアム人材セミナー in 山口
「目指せ 長州発グローバルイノベーション」

日時 平成27年9月4日(金)
15時30分～17時30分

場所 山口大学 メディア講義室
(山口県山口市吉田1677-1)

プログラム

- 15:30-15:35 開会挨拶 理事・副学長 三池 秀敏
- 15:35-16:30 基調講演
「シリコンバレーから学び、自分の研究でグローバルイノベーションを起こそう！」
森若カヲ 専務取締役(兼)CIO 森若 ジョン幸次郎 氏
- 16:30-17:00 特別講演
「今求められるアントレプレナーと大学発イノベーション」
文部科学省 産業連携・地域交流課長 坂本 修一 氏
- 17:00-17:25 質疑応答 (司会) 理学部長 松野 浩嗣
- 17:25-17:30 閉会挨拶 学長 岡 正朗

参加無料

お問い合わせ先
山口大学 大学研究推進機構 担当 藤井 (083)833-5255 二階堂 (0836)85-9990
E-mail: con@hiraku.yu.ac.jp

HIRAKU 科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
【次世代研究者育成プログラム】

岡学長を始め教職員及び学生等約70名が参加しました。セミナーでは始めに、大学研究推進機構長の三池秀敏理事の開会挨拶が行われ、続いて、(株)モリワカ専務取締役(兼)CIOの森若ジョン幸次郎氏から、「シリコンバレーから学び、自分の研究でグローバルイノベーションを起こそう!」と題して、約1時間の講演がありました。森若氏は講演の中で会場内を歩きながら、参加者に質問を投げかけるなど聴衆と一体となり、自身の経験からイノベーションは社会課題の抽出とその解決の為であり、そのためにはマインドセットの重要性、英語によるコミュニケーション能力とこれらを駆使したネットワーク創りの重要性を熱く訴えかけました。森若氏に続いて、文部科学省産業連携・地域支援課長の坂本修一氏から「今求められるアントレプレナーと大学発イノベーション」と題して、約40分の講演がありました。坂本氏は、日本と欧米との産学連携の実態の違い、今大学に期待される大学発イノベーションの重要性を、時に森若氏の講演を引用しながら力説されました。お二人の講演に続いて松野理学部長の司会による質疑応答があり、会場の学生からも二人の講演者に質問等がなされ、予定時間をオーバーする活況のなか、学長による閉会の挨拶で幕を閉じました。

第8回 in 徳島 (参加者33名)

概要

HIRAKU 科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業【次世代研究者育成プログラム】

参加無料

入学院生・ホストクを中心とした

第8回コンソーシアム人材セミナー in 徳島
「ロボット未来予想図」
～ Cloud Roboticsへの動き ～

平成27年 9月14日(月)
講演会 ……10:00～11:30
ロボット懇談会…11:30～12:30

会場：徳島大学常三島キャンパス
産学官連携プラザ3階
日亜ホール

講師：大永 英明 氏
Innovation Matrix, Inc. CEO

日本は、得意分野である「ロボットのメーカーを中心としたロボット産業が旺盛で、世界をリードするロボット大国を作り上げてきたが、東日本大震災及び、経済発展停滞経済政策などにおいては、期待ほどには日本のロボット技術が輸出出来ませんでした。一方、アメリカでは、IT産業に続く産業の興隆として、ロボット技術・産業の発展に国家の力を投入し始めています。

今、ロボット技術とインターネットを結びつけたIT技術の進化によって、人間とロボットが共生・共存する社会に入ろうとしています。ロボット産業の歴史などを通して、今後の期待される人間社会に役立つロボット、期待されるロボットについて考察します。

ロボット技術とインターネットを結びつけたIT技術の進化によって、人間とロボットが共生・共存する社会に入ろうとしています。ロボット産業の歴史などを通して、今後の期待される人間社会に役立つロボット、期待されるロボットについて考察します。

●申込方法：1.氏名 2.所属 3.学年(職名) 4.懇談会への参加(不参加を明記して)。下記、申込書またはメールにてご連絡ください。●申込締切：9月10日(水) ※お申し込みは無料です

●お申し込み・お問い合わせ先 ●
科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業【本学を拓く地方産業プラットフォーム】
徳島大学事務局：hiraku@tokushima-u.ac.jp / 088-656-9759

米国カリフォルニア州シリコンバレーから大永英明先生を講師に迎え、ロボット開発の歴史や、ロボットに対する日本と米国との認識の違いなどについて詳細にご説明いただきました。

今後、期待される人間社会に役立つロボットのご紹介から、近い将来、人間とロボットが共生・共存する社会を具体的にイメージすることができました。

ロボット懇談会では、人間に追従する機能を備えているロボット「Freight」が、うしろからずつついてくれる様子を楽しく体験させていただき、新しい応用場面・用途など、会話が弾みました。

初めは物静かだった参加者も、ロボット業界一筋40余年の大永先生とロボットを囲むうちに、活発な質問も飛び出し、有意義な会となりました。

第9回 in 広島 (参加者53名)

参加者の感想・意見

HIRAKU 科学技術人材育成センター 科学技術人材育成のコンソーシアムの開催事業(産学連携推進センター)

大学院生・ポスドクを中心とした
第9回コンソーシアム人材セミナー in 広島

講演①
**「未来予想から考える21世紀のイノベーション像
ー繊維材料技術・産業の歴史を手掛かりにしてー」**

講演②
**「スポーツを通じた異文化交流
(果てしなき挑戦に向けて)」**

平成27年 **10月21日(水)**

セミナー 14:30~16:40 会場:東広島キャンパス
懇談会 16:50~17:50 生物圏科学研究科 C314 講義室

【講演① 14:35~15:35】 講師:細川 宏氏
(三菱レイヨン株式会社 研究企画推進、CSR担当)

【講演② 15:40~16:40】 講師:大河内 博氏
(スマート・シールド・インターナショナル 代表取締役)

三菱レイヨン株式会社	スマート・シールド・インターナショナル
【所在地】 東京都千代田区丸の内1-1-1 【会場】 広島県広島市 【出張費】 6,400円(講師) (2015年3月実施) 【募集内容】 正社員、アルバイト兼務、AO受入れ、学生、編入、企業就職・情報資料、中堅企業、本邦進	【所在地】 広島県 【会場】 508-30030 広島市 【募集内容】 コンサルタント (アセアン+中国での事業 展開支援)

【申込方法】
1. 第1回・2. 第2回・3. 第3回・4. 学年(職名)・5. 懇談会への参加・不参加を明記して、下記「申込み・問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。
※ 申込締切: 10月19日(月)

・申込み・問い合わせ先・
広島大学グローバルキャリアデザインセンター(庶務 藤原 薫)
E-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp TEL: 082-424-4564
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/

・“イノベーション”と、“海外でのコミュニケーション”というテーマでのお話がとても参考になった。“イノベーション”ということで、常に意欲的に現状に満足することなく、今を見つめ分析し、そして先を考え発言していく姿勢を取っていききたい。(生物圏科学研究科 生物機能開発専攻 女性)

・“イノベーション”というキーワードを基に過去・現在の事例から未来を考えることは、必要だと思いつつ、これまで考えてみたことがなかったので、興味深かった。スポーツが国際交流に有効であるということは、以前から思っていたが、実際にスポーツで政治を動かした事例が聴けて有意義であった。(生物圏科学研究科 女性)

・講演内容が、三菱レイヨン(株)の「アカデミック」なお話と、スマート・シールド・インターナショナル社の「人間性」という人間の中身に関するお話で、両方対照的なお話が聴けて良かった。(工学研究科 応用化学専攻男性)

第10回 in 広島 (参加者50名)

参加者の感想・意見

HIRAKU 科学技術人材育成センター 科学技術人材育成のコンソーシアムの開催事業(産学連携推進センター)

大学院生・ポスドクを中心とした
第10回コンソーシアム人材セミナー in 広島

**産学連携とイノベーション
ーライブサイエンス企業の研究現場、
先端分析科学とタンパク質研究などー**

平成27年 **10月30日(金)**

セミナー 14:30~15:30 会場:東広島キャンパス
懇談会 15:40~16:30 理学部 E棟 E002講義室

講師:鈴木 榮一郎 氏
(味の素株式会社 課長 業務課 上席)

味の素株式会社

【所在地】 東京都中央区東區一丁目1番1号
【会場】 広島県広島市
【出張費】 31,312円(講師) 3,484円(2015年3月1日現在)
【募集内容】 食品、アルミ粉、医薬品等の製造及び販売

【申込方法】
1. 第10回・2. 第1回・3. 第2回・4. 学年(職名)・5. 懇談会への参加・不参加を明記して、下記「申込み・問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。
※ 申込締切: 10月28日(水)

・申込み・問い合わせ先・
広島大学グローバルキャリアデザインセンター(庶務 藤原 薫)
E-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp TEL: 082-424-4564
URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/

・イノベーションの必要性や、イノベーションが成就されるまでのプロセスを、自分の中で少し理解できたように感じる。これから自分が研究者として、世の中に貢献していくことを考えた場合、目先のことばかりに飛びつくのではなく、5年10年先のことも踏まえた計画性ある日々を過ごすことが、重要であると思う。学生生活、すなわち研究室生活で、そのような資質を少しでも身に付けたい。(理学部化学科 男性)

・講演では、ただ研究の話だけをするのではなく、会社の歴史やイノベーションの事なども含め、幅広いお話が聴けた。また、味の素(株)が食品だけでなく、薬品や電子材料なども手掛けているという説明も初めて知った。食品の研究から始め、現在の幅広い取り組みになるまでのプロセスが分かり易かった。(理学研究科数理分子生命理学専攻 女性)

・本日の主要なテーマである、イノベーションというものがどのようなものか、具体的なお話があり、分かり易く理解できた。また企業現場で働いた生の経験談を聴けたことも、大変良い機会であった。(生物圏科学研究科男性)

第11回 in 広島 (参加者64名)

・東レ(株)について十分に知ることができたと同時に、どのような人材が必要とされるかについても学ぶことができた。研究職に関しては、特に複数の専門性について習得し、常に探究心を持ち続けることが重要であると感じた。(生物圏科学研究科 男性)

・メーカーの仕事内容については、以前から興味を持っており、「研究部」、「開発部」、「製造部」のそれぞれで、どのような人材を求めているのか、また採用時・採用後にどのような流れで配属部署が決定するのか、関心を持っていた。私が抱いていた疑問を解消することができ、良い機会となった。(工学研究科応用化学専攻 男性)

・どのような会社で、どのような事業展開を行っているのか、ビジネス面での会社紹介を、実際に研究を行っていらっしゃる先輩の方から話を聴くことができ、非常に良かった。今後も同様なセミナーの開催をお願いします。(工学研究科応用化学専攻 男性)

・会社の概要だけでなく、技術系の社員の方も講師としてお話をして頂いたことが良かった。特に、仕事内容だけでなく、博士課程を選択した理由、アカデミアではなく一般企業を志望した理由、また就職活動についても分かり易くお話をして頂いて、参考になった。(先端物質科学研究科半導体集積専攻 M2 男性)

第12回 in 徳島 (参加者56名)

日本最大のクラウドソーシングサービスの「ランサーズ株式会社」の篠原智美氏を講師にお迎えし、ご講演いただきました。

セミナーには多くの教職員、学生が参加し、講演終了後の質疑応答の時間、また、セミナーに引き続き行われた懇談会では、参加者から、篠原氏に数多くの質問があったため、予定していた時間を超過してしまいました。

第13回 in 広島 (参加者20名)

HIRAKU 科学技術人材育成のためのコンソーシアムの推進事業「総合型産学連携プロジェクト」
 大学側・ボスドクを中心とした
第13回コンソーシアム人材セミナー in 広島

『当社の会社紹介と商品開発事情、期待する人材像』

平成27年 **12月 10日(木)**

セミナー 14:30~16:00 会場:東広島キャンパス
 懇談会 16:10~17:00 生物圏科学研究科 C314講義室

講師: 佐々木 高範氏
 (フマキラー株式会社 常務本部長 取締役管理本部長)

※セミナーは、研究科共済セミナーの要領となります

【講演概要】
 当社は、「ひとの命・暮らし・環境を守り、世界中の人々が安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献する」という経営理念のもと、殺虫剤、家庭用品(除菌剤・花粉対策商品など)、園芸用品、軍需用品等の製造販売、輸出入業務を行っています。1874年の創業以来、電化製品「ペーパー」を始め数々の独創的な商品を開発し、東アジアを中心に世界的70ヶ国で販売しています。そんな当社のものづくりを支えるのが、研究開発です。世界に感動を与えるフマキラー商品を目指して、技術×発想×機軸で世界を牽引していくために、会社が求める人材像についてもお話しさせていただきます。

※申込方法: 1.申し込み書(2名) 2.名前 3.所属 (学年(職名)) 4.懇談会への参加(不参加を明記して) 下記(申込み)欄の「お問い合わせ先」まで、Eメールにてご連絡ください。 申込締切: 12月7日(月)

※申込み・問い合わせ先
 広島大学グローバルイノベーションセンター(国際 産学 連携 課)
 E-mail: wakabayashi@office.hiroshima-u.ac.jp TEL: 082-424-4564
 URL: http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakabayashi/

・CMでよく見かける企業だったので、殺虫剤のイメージがとても強かったが、害虫対策だけでなく、食中毒の予防といった研究開発もされているという話を聞くことができ、大変興味深いセミナーであった。また、会社や製品だけでなく、今後の就職活動を控えている学生の為に用意して頂いた話も聞くことができ、就職等で必要な自己分析を今後していく上で、役立てていきたいと思う。(生物圏科学研究科生物機能開発専攻 男性)

・フマキラーという会社について殺虫剤メーカーというイメージしか無かったが、家庭用品を含む日用品も多数扱っていること、そして殺虫剤を通して安心・安全を目指していることが良く理解できた。(生物圏科学研究科生物資源科学専攻 男性)

・会社の内容が詳しく分かった、また就職活動の際のアドバイスや学生に対するメッセージも聞くことができ良かった。今後も化学系企業による人材セミナー開催をお願いしたい。(工学研究科応用化学専攻 B4女性、理学研究科化学専攻 男性)

第14回 in 山口 (参加者56名)

概要

HIRAKU 科学技術人材育成のためのコンソーシアムの推進事業「総合型産学連携プロジェクト」
第14回コンソーシアム人材セミナー in 山口

平成28年1月21日(木)
 15時~17時

山口大学 メディア講義室
 (山口県山口市名田167-1)
 中継会場 東郷キャンパス メディアTV会議室

15:00-15:05 開会挨拶 理事・副学長 三池 秀敏
 15:05-16:40 講演 新秋川牧園会長 秋川 実 氏
 16:40-16:55 質疑応答
 16:55-17:00 閉会挨拶 理学部長 松野 浩嗣

【講演概要】
 「健康を育てる...健康を科学する」
 当社の理念を聞いて、全ての食品の生産に生産を伴っている。そして子供時代から中国での秋川博士の農業経営から日本の農業経営への移行へ、更に秋川博士が持つ独自の農業経営への理解へと発展する。農業に21世紀の科学、食に対する食料安全保障と健康の観点から、食社会で食学の活用が在り方が示されています。

※お問い合わせ先
 E-mail: yamaguchi@office.hiroshima-u.ac.jp
 〒753-8580 山口県山口市名田167-1 山口大学 国際産学連携課

本学主催の産学連携プロジェクト「HIRAKU」について
 本学側は、2013年4月に産学連携推進機構(学務部)を創設し、産学連携推進プロジェクトを推進しています。本学側は、産学連携推進機構(学務部)を通じて、産学連携推進プロジェクトを推進しています。詳しくは、http://www.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/

1月21日(木)、吉田キャンパスのメディア講義室を主会場に「第14回コンソーシアム人材セミナーin 山口」を開催し、教職員及び学生等56名が参加しました。

始めに本学大学研究推進機構長の三池 秀敏 理事・副学長より開会の挨拶があり、続いて、秋川牧園グループ会長の秋川 実 氏から「健康を育てる...健康を科学する」と題した講演が行われました。秋川氏は、83歳の年齢を感じさせない力強い声で、戦前に幼少期を過ごした中国での体験、および帰国後の苦勞を通じて体得した農業および食に対する氏の信念を熱心に語られました。山口大学の文理学部で学んだ化学の知識と独学で得た経営学の知識を農業の現場で実践した実話は、実社会における学問の活用の在り方を教える意義深いものでした。

講演後も、会場からの質問に対して丁寧に自身の考えを語られ、予定時間をオーバーするほど盛況な講演会となり、最後に松野 浩嗣 理学部長からの閉会の挨拶で幕を閉じました。

HIRAKU 私立徳島大学教育経済学部 教育経済学系 教育経済学系 教育経済学系 教育経済学系
 小規模専攻 次世代型専攻(70名) 専攻を基に地方自治体プラットフォーム

学生・ポスドクを中心とした
第15回コンソーシアム人材セミナー in 徳島

学術系クラウドファンディング
 最先端研究の「ワクワク」「ドキドキ」をあなたにおすそわけ

講師 **柴藤 亮介氏**
 RYOSUKE Shibasaki
 アカデミスト株式会社 代表取締役
 academist

平成28年
1月14日(木) 16:30-17:30
 徳島大学常三島キャンパス
 産学官連携プラザ3階 **日亜ホール**

お申し込み・お問い合わせ先
 私立徳島大学教育経済学系 教育経済学系 教育経済学系 教育経済学系 教育経済学系
 徳島大学事務局: hiraku@tokushima-u.ac.jp / ☎088-656-9759

アカデミスト株式会社の代表取締役 柴藤亮介氏を講師にお迎えし、クラウドファンディングの可能性やクラウドファンディングと研究機関の関係性等についてご講演いただきました。

講演終了後には、参加者から講師の方に数多くの質問があり、予定されていた時間を超過するなど盛り上がったセミナーとなりました。

HIRAKU 私立徳島大学教育経済学部 教育経済学系 教育経済学系 教育経済学系 教育経済学系
 小規模専攻 次世代型専攻(70名) 専攻を基に地方自治体プラットフォーム

大学院生・ポスドクを中心とした
第16回コンソーシアム人材セミナー in 広島

**「三菱総合研究所」って何?
 どんな集団? にお答えします!**

平成28年 **2月3日(水)**

セミナー 14:30~16:00 会場: 東広島キャンパス
 懇談会 16:00~17:00 総合科学部K棟K209

講師: **糟谷 英之氏**
 (株式会社三菱総合研究所 人事課 主事)

【講演概要】
 シンクタンク・コンサルティングの業務は、多種多様な分野にまたがっており、実際のプロジェクトを題材に具体的な業務の進め方を紹介します。
 また、当社にとっては多様な分野における高度なプロフェッショナルが最も重要な経営資源であり、優秀な人材の採用と育成、適材適所の人材配置、ダイバーシティーの推進ならびにワークライフバランスの向上に力をかけています。
 議論にも積極的なプロフェッショナルがどのように育成されているのか、どのようなキャリアパスを経て活躍しているのかについてもご紹介いたします。

お申し込み・お問い合わせ先
 広島大学グローバルキャリアデザインセンター(出陣 事務・課)
 E-mail: wakatayousei@office.hiroshima-u.ac.jp TEL: 082-424-4564
 URL: http://www3.hiroshima-u.ac.jp/wakatayousei/

・シンクタンク、コンサルティングは、一見 不透明な業界・業務であったが、今回のセミナーでは、どのような仕事を行い、研究員がどのような働き方をしているか良く分かり、仕事のイメージを持つことができました。特に、三菱総研で働く人々のイメージが掴める説明をして頂き、また講師の方の印象に残ったプロジェクトを聴いて、仕事の楽しさ、難しさ等、具体的なお話を伺うことができたことも良かった。(国際協力研究科 男性、工学研究科 男性)

・シンクタンクというのは、高い専門性を必要とする職種であるにも関わらず、あまり博士の学生等に認知・注目されていない気がする。話を聴く機会があまり無かったが、今回は良い機会であった。セミナーでは、三菱総研の研究員の1日の生活スケジュールについて、通常期、繁忙期の2パターンを知ることができ貴重な情報であった。繁忙期の業務・残業が想像以上に忙しいことにも驚いた。また研究内容は大学の研究と同様であると思っていたが、実際はかなり異なることも分かり参考になった。(理学研究科 研究員 男性、理学研究科 女性)

・自分の研究を直接的に三菱総研の仕事・研究に繋げることは難しいと思ったが、どうすれば活かすことができるかを考えるという点で、今回は非常に良いきっかけとなった。三菱総研のセミナーに参加して、どのようなプロジェクトを行っており、どのようなキャリアを積んでいくか等、様々なことを知ることができたのは良かった。また会社に勤務しながら、社会人博士を取得することについて、過去に共同研究を行った企業では、社会人博士を取ることが非常に厳しいと聞いたことがあるが、その点について三菱総研の考えをもっと詳しく聴きたかった。今後も文系の研究(行動科学)が活かせるような企業セミナーに参加したい。(総合科学研究科 男性)

HIRAKU
大学間連携・ボス・ドゥを以てした
第17回コンソーシアム人材セミナー in 広島
「NECの消防防災事業の取り組みと
求める人材について」
平成28年 **3月9日(水)**
セミナー 14:30~16:00
懇談会 16:00~17:00
会場：東広島キャンパス 工学部117講義室(B4棟)
本セミナーは理学研究科
セミナーの集約となります
講師：岸田 温氏
(日本電気株式会社交通・都市基盤事業部
グローバルビジネス推進部シニアエキスパート)
*申込方法：17回(2名席 3用紙 4学年(職名))を懇談会への参加・不参加を明記して、
下記(申込み・問い合わせ先)まで、Eメールにてご連絡ください。申込締切：3月7日(月)
*申込み・問い合わせ先
広島大学グローバルキャリアデザインセンター (田中 望輝・東)
E-mail : wakatayama@office.hiroshima-u.ac.jp TEL : 082-424-4564
URL : http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakatayama/

日本電気株式会社交通・都市基盤事業部
グローバルビジネス推進部シニアエキスパートの岸田温氏をお迎えし、日本電気株式会社が取り組んでいる、消防防災ソリューション、空港ソリューション、広島大学と共同で事業化を目指している森林火災リスク検知事業等、海外での取り組み事例も紹介しながら、会社が求める人材像についてご講演いただいた。

- ・博士人材への期待・求めることについて詳しくお話くださったのが良かった。また NEC さんの海外への取り組み等について、詳しく研究段階から紹介していただき、とても勉強になりました。私は工学系にはあまり興味がなかったので、NEC さんの事業内容をあまり知りませんでしたが、今回のセミナーで視野が広がりました。(理学研究科 女性)
- ・NEC はパソコンのイメージが強かったですが、社会インフラ事業に力を入れていることと、その事業内容について詳しく知ることができて良かった。貴重なお話を聴くことができた。(文学研究科 女性、理学研究科 男性)
- ・非常に面白いお話を聴くことができて良かった。このようなお話であれば、毎日でもお聴きしたいくらいです。(工学研究科 男性)

9. 若手研究人材の意識啓発を促す取組み

9-1. ホームページ

本事業の取組内容は、オリジナルホームページ HIRAKU (<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/>) を構築し、イベント参加者募集や公募などのお知らせも随時掲載している。そこには、より詳細な内容や連携機関の情報を掲載している。また、若手研究者ポートフォリオ (HIRAKU-PF) にリンクしている。



広島大学

URL:<http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/>



山口大学

URL: <http://kenkyu.yamaguchi-u.ac.jp/HIRAKU/>

未来を拓く地方協奏プラットフォーム
科学技術人材育成のエネルギーとしての構築事業

この度、文部科学省の平成26年度地域学術人材育成推進助成事業「科学技術人材育成型コンソーシアムの構築事業」で、山口大学が共同実施機関として採択されました。
「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」をテーマに、広島大学を代表機関として、共同実施機関に山口大学、徳島大学、鹿児島大学、中国四国の国立大学、公立大学、私立大学および多くの企業が参画して実施します。

山口大学西条キャンパス

トピックス

- 2016/03/08 [2016年度研究奨励金の発表（11V発表）](#)
- 2015/12/15 [「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」において、徳島県立大学と共同実施機関の共同実施機関が発表](#)
- 2015/10/14 [コンソーシアム委員の公表（次年度定員・実施機関等）](#)
- 2015/06/15 [第4回 科学技術フォーラム「未来・健康・社会」有識者発表](#)
- 2015/06/25 [「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」発表事業について](#)

事業の概要

本事業は、中国四国地方の国立私立大学、企業等が参加するコンソーシアムを構築し、イノベーション創出支援プログラムと学芸アトラクティブ導入等を通じて若手研究者の自立・活動化を推進するものです。
本コンソーシアムでは、研究力・企業力の連携、英語インターナショナル、シーズ、ニーズの出会いの場づくり、マッチング支援、学芸アトラクティブ研究者の引揚、誘発、および若手研究者などの多様な雇用形態の導入等のサービスを提供したプラットフォームを構築し、博士人材や若手研究者が、イノベーション創出人材として積極的に育つよう支援します。
本コンソーシアムによる優秀なイノベーション創出人材の育成を通じて、地方の競争力強化、ひいては中国四国から日本の未来を

徳島大学

URL: <http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/cons/>

徳島大学
研究支援・産官学連携センター
Center for Research, Education, and Collaboration

HIRAKU
未来を拓く地方協奏プラットフォーム

科学技術人材育成のエネルギーとしての構築事業

中国四国地方の国立私立大学、企業等が参加するコンソーシアムを構築し、イノベーション創出支援プログラムと学芸アトラクティブ導入等を通じて若手研究者の自立・活動化を推進するものです。

本コンソーシアムでは、研究力・企業力の連携、英語インターナショナル、シーズ、ニーズの出会いの場づくり、マッチング支援、学芸アトラクティブ研究者の引揚、誘発、および若手研究者などの多様な雇用形態の導入等のサービスを提供したプラットフォームを構築し、博士人材や若手研究者が、イノベーション創出人材として積極的に育つよう支援します。

本コンソーシアムによる優秀なイノベーション創出人材の育成を通じて、地方の競争力強化、ひいては中国四国から日本の未来を

最新情報

- 2016.3.12 [徳島大学産学連携センター（CCR）が研究奨励金発表](#)
- 2015.12.15 [徳島県立大学と共同実施機関の共同実施機関が発表](#)
- 2015.10.14 [コンソーシアム委員の公表（次年度定員・実施機関等）](#)
- 2015.06.15 [第4回 科学技術フォーラム「未来・健康・社会」有識者発表](#)
- 2015.06.25 [「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」発表事業について](#)

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」では、互いの強みを活かして、
博士人材の育成と活動化を支援するプラットフォーム構築
自己力による研究人材の育成

イノベーション創出人材の
学芸アトラクティブ導入による 若手研究者の

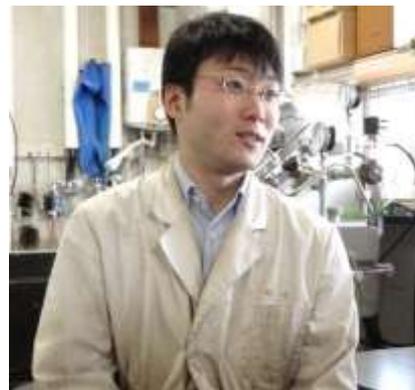
9-2. 研究者等紹介

9-2-1. 博士人材インタビュー - TO BE PROFESSIONAL 「D」の飛翔 -

第15回 2014年3月12日取材・2014年4月7日HP掲載

広島大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 D3 田中 大樹さん

研究を始めたきっかけは？
研究内容はどのようなものですか？
D進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
研究環境はいかがですか？
就職はどのような方面にされる方が多いですか？
研究のやりがいは？
今後のご自身の展望は？



第16回 2014年7月24日取材・2014年9月22日HP掲載

広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 口腔健康科学専攻 D3 岩畔 将吾さん

現在の研究内容はどのようなものですか？
研究をはじめたきっかけは？
D進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
就職はどのような方面にされる方が多いですか？
研究のやりがいは？今後のご自身の展望は？



第17回 2014年9月17日取材・2014年12月5日HP掲載

広島大学 大学院生物圏科学研究科 生物機能開発学専攻 D3 神本 真紀さん

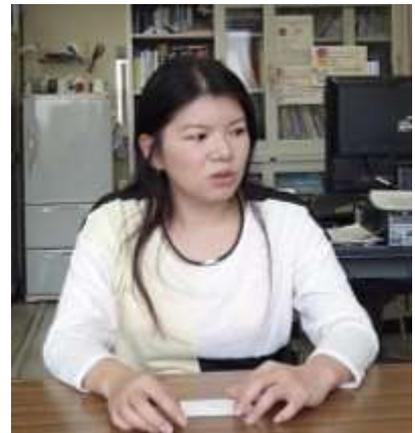
研究をはじめたきっかけは？
研究内容はどのようなものですか？
D進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
研究環境はいかがですか？
今後のご自身の展望は？



第18回 2014年10月27日取材・2014年12月26日HP掲載

広島大学 大学院国際協力研究科 教育文化専攻 D3 谷口 京子さん

現在の研究内容はどのようなものですか？
研究を始めたきっかけは？
D 進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
修了後の進路はどのような方面にされる方が多いですか？
研究のやりがいは/今後のご自身の展望は？



第19回 2014年12月8日取材・2015年1月9日HP掲載

広島大学 大学院教育学研究科 文化教育開発専攻 D2 山田 真子さん

現在の研究内容はどのようなものですか？
研究のやりがいは？
研究を始めたきっかけは？
D 進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
今後のご自身の展望は？
D 進学を考える学生へのメッセージ



第20回 2014年9月11日取材・2015年1月9日HP掲載

広島大学 大学院社会科学研究科 マネジメント専攻 D3 藤本 静さん

現在の研究内容はどのようなものですか？
研究を始めたきっかけは？
D 進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
修了後の進路はどのような方面にされる方が多いですか？
研究のやりがいは？今後のご自身の展望は？



第21回 2014年11月21日取材・2015年1月28日HP掲載

広島大学 大学院総合科学研究科 総合科学専攻 D3 濱本 明恵さん

研究をはじめたきっかけは？
研究内容はどのようなものですか？
D 進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
研究環境はいかがですか？
今後のご自身の展望は？



第22回 2015年2月20日取材・2015年3月30日HP掲載

広島大学 大学院工学研究科 情報工学専攻 D1 平川 翼さん

現在の研究内容はどのようなものですか？
研究をはじめたきっかけは？
D 進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
研究環境はいかがですか？
今後のご自身の展望は？



第23回 2015年3月6日取材・2015年3月30日HP掲載

広島大学 大学院理学研究科 地球惑星システム学専攻 D3 菊池 早希子さん

研究内容はどのようなものですか？
研究をはじめたきっかけは？
D 進学の手は？
先生の指導方針や研究室の特色は？
研究環境はいかがですか？
今後のご自身の展望は？



第 24 回 2015 年 2 月 9 日取材・2015 年 4 月 24 日 HP 掲載

広島大学 大学院理学研究科 数学専攻 D3 福井 敬祐さん

研究を始めたきっかけは？

研究内容はどのようなものですか？

一度社会に出られた後になぜ D に進もうと思ったんですか？

先生の指導方針や研究室の特色は？

今後のご自身の展望とこれから D を目指す人へのメッセージ



第 25 回 2015 年 5 月 29 日取材・2015 年 6 月 10 日 HP 掲載

広島大学 大学院工学研究科 システムサイバネティクス専攻 D3 平野 博大さん

研究はどのようなものですか？

研究の意義は？

研究をはじめたきっかけは？

D 進学を決め手は？

先生の指導方針や研究室の特色は？

インターンシップを経ての収穫は？

今後のご自身の展望は？

D 進学を考える学生へのメッセージ



第 26 回 2015 年 5 月 18 日取材・2015 年 6 月 26 日 HP 掲載

広島大学 大学院総合科学研究科 総合科学専攻 D2 渡邊 大輝さん

研究は始めたきっかけは？

研究内容はどのようなものですか？

先生の指導方針や研究室の特色は？

今後のご自身の展望

これから D を目指す人へのメッセージ



第27回 2015年8月17日取材・2015年10月16日HP掲載

広島大学 大学院工学研究科 輸送・環境システム専攻 D3 野波 諒太さん

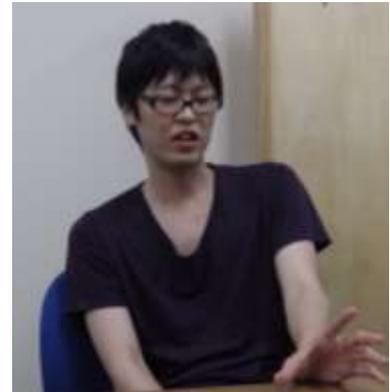
研究内容について

研究をはじめたきっかけ

インターンシップでの経験

研究室の特色について

今後の展望・Dを目指す人へ



第28回 2015年9月14日取材・2015年10月22日HP掲載

広島大学 大学院理学研究科 数学専攻 D3 風呂川 幹央さん

研究内容について

—何をもって「同じ」と見るか

—D進学を決め手—数学の奥深さに惹かれて

インターンシップについて

—研究室から飛び出すチャンス

—自分の経験はいかに生かせるか

研究室の特色について

—研究室について

—「鈍感力」が大切

今後の展望・D進学を目指す人へのメッセージ



第29回 2015年11月21日取材・2016年1月7日HP掲載

広島大学 大学院理学研究科 化学専攻 D3 金子 政志さん

研究内容について—誰も見たことのない頂へ

—ミクロな視点から「なぜ」への挑戦

研究をはじめたきっかけ

研究室の特色

今後の展望

D進学を考える人へのメッセージ



第30回 2015年11月18日取材・2016年1月21日HP掲載

広島大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 D2 中島 真実さん

研究を始めたきっかけは？

研究内容はどのようなものですか？

D 進学の決め手は？

先生の指導方針や研究室の特色は？

研究環境はいかがですか？

今後のご自身の展望は？



第31回 2015年12月14日取材・2016年3月4日HP掲載

広島大学 大学院工学研究科 輸送・環境システム専攻 D2 伊藤 悠真さん

研究内容：地面効果翼機の実用化に向けて

ー地面効果翼機って何？ー飛行機と船の中間の輸送機関

ーシミュレーションと実験、双方大切

学部時代は鳥人間コンテストに出場！

進学への迷いはなかった！

研究室の状況

インターンシップの経験

博士号取得に向けての課題

今後の展望：航空関係で働きたい！



9-2-2. 教員へのインタビュー - Professional 先生の流儀 -

第13回 2014年3月19日取材・2014年4月18日HP掲載

広島大学 大学院工学研究院 建築学専攻 大久保 孝昭 教授

～スクラップ&ビルドからストック&リノベーションへ～

現在の研究内容-「建築物を長持ちさせる研究」

学生の指導方針-「個性の尊重と社会に出る練習」

研究継続における上で大切なこと-「明確な目標と v.s.o.p」

大学で研究を続けようと思ったきっかけ-

「若い人を育てたい」

博士課程進学を考える学生へのメッセージ-

「これからの日本を支える覚悟」



第14回 2014年5月28日取材・2014年7月2日HP掲載

広島大学 大学院総合科学研究科 総合科学専攻 吉田 光演 教授

～学際的アプローチによって言語の起源を明らかにする～

現在の研究内容-「言語間の共通性を探る」

学生の指導方針-「幅広い視野を」

研究継続における上で大切なこと-「楽しさと仲間」

大学で研究を続けようと思ったきっかけ-

「1つの言語から言語の起源へ」

博士課程進学を考える学生へのメッセージ-

「求められるドクター人材」



第15回 2014年9月4日取材・2014年10月6日HP掲載

広島大学 大学院先端物質科学研究科 量子物質科学専攻 角屋 豊 教授

～Dの人にしか見えない世界を一緒に探しませんか～

現在の研究内容-

「ナノサイズの光アンテナとテラヘルツ波技術の展開」

学生の指導方針-「学年、学生による」

研究継続における上で大切なこと-

「研究に対する熱意と家族の支え」

大学で研究を続けようと思ったきっかけ-

「研究者になりたいという選択肢があったから」



D 進学を考える学生へのメッセージー

「博士号を取った人にしか見えない世界があるのでは」

第 16 回 2014 年 8 月 21 日取材・2014 年 10 月 10 日 HP 掲載

広島大学大学院 教育学研究科 心理学専攻 宮谷 真人 教授

～脳の電位の変化から人間の感情と行動のメカニズムに迫る～

研究内容ー「記憶と感情から考える人間の行動」

指導方針ー「自由で自主的なテーマ設定の中で生まれるインスピレーション」

研究継続における上で大切なことー

「耐え抜く力とネットワーク」

大学で研究を続けようと思ったきっかけー

「世界で自分しか知らない答えを持つ喜び」

博士課程進学を考える学生にメッセージー

「リサーチリテラシーは生きる力」



第 17 回 2015 年 1 月 16 日取材・2015 年 3 月 10 日 HP 掲載

広島大学大学院 総合科学研究科 総合科学専攻 杉浦 義典 准教授

～個性と病気の狭間にある心理学のパイオニア～

研究内容ー「心理学の先にある病気」

指導方針ー

「己のできることを知る。外とのつながりをもつ」

研究継続における上で大切なことー

「焦らず、人とのつながりを大切に」

博士課程進学を考える学生にメッセージー

「研究は求めなければやってこない」



第 18 回 2015 年 2 月 27 日取材・2015 年 4 月 17 日 HP 掲載

広島大学 大学院社会科学部 経営学専攻 原口 恭彦 教授

～人が仕事にやりがいを感じながら働けるように～

現在の研究内容ー「人的資源管理」

学生の指導方針ー「全力で報告させる」

研究継続における上で大切なことー「やりがい、必要とされる感覚と健康管理」

企業でなく大学で研究を続けようと思ったきっかけー

「5年間の人事仕事を通じて感じたこと」

D 進学を考える学生へのメッセージー

「十分悩んでください。そして決めたら後悔しない！」



第19回 2015年4月27日取材・2015年5月19日HP掲載

広島大学 大学院工学研究院 システムサイバネティクス専攻 辻 敏夫 教授

～ヒトと機械の共存をめざして～

研究内容ー ヒトと機械が有機的に繋がる世界

指導方針ー

「自分をマネジメントする力を身につけてほしい」

研究を継続するうえで大切なことー

「セレンディピティを身につけること」

大学で研究を続けようと思ったきっかけー

「好きなことを好きなだけ追求できる場所」

博士課程進学を考える学生へのメッセージー

「自分の研究を自慢できる人間になってください」



第20回 2015年6月22日取材・2015年7月24日HP掲載

広島大学 大学院理学研究科 数理分子生命理学専攻 楯 真一 教授

わかる実感 わかる喜び

～生体分子の「ゆらぎ」を追い求めて～

研究内容ー 生命現象を「ゆらぎ」でとらえなおす

研究者としての道を選んだ理由ー

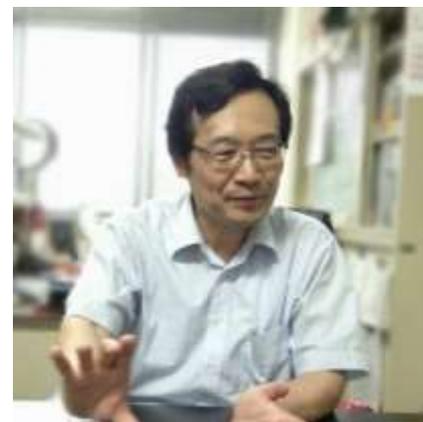
これまでの研究に納得いかなかった

研究者として大切なことー 自分の研究を批判的に見る

指導方針ー「わかった」ときの喜びを感じてほしい

博士課程進学を考える学生へのメッセージー

リスクと責任を背負うこと



第21回 2015年8月5日取材・2015年11月4日HP掲載

広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 医歯薬学専攻 山脇 成人 教授

うつ病からモノづくりへ～人間の心を科学する～

現在の研究内容

産学連携ーモノづくりのパラダイムシフトの必要性

日本と世界の違い

自分の人生を振り返って

指導方針ー

アンメットニーズの提供とモチベーションの維持
オフの時間と息抜きの方法

学生の皆さんへー

人との出会いとモチベーションを大切に



第22回 2015年8月24日取材・2015年11月16日HP掲載

広島大学 大学院教育学研究科 科学文化教育学専攻 池野 範男 教授

～最先端の研究課題を見つけ出そう～

現在の研究内容ー「シティズンシップ教育」を通じてより良い社会を構築すること

学生の指導方針ー

精神的に強い教員・若手の研究リーダーを育成
研究を継続する上で大切なことー 最先端の研究を！

D進学を考える学生へのメッセージー

自分で研究を切り開けることを期待



第23回 2015年12月21日取材・2016年2月23日HP掲載

広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 保健学専攻
弓削 類 教授

「人の役に立つ」を形にする

現在の研究内容

研究をはじめたきっかけー「人類のために貢献できる」とイメージしてしまった

研究を継続する上で大切なことー 趣味の時間を持つ



研究室の特色－「自由」です
学生へのメッセージ・今後の展望

第 24 回 2015 年 11 月 2 日取材・2016 年 3 月 4 日 HP 掲載

広島大学 大学院教育学研究科 文化教育開発専攻 柳瀬 陽介 教授

身体実感を持つて！

英語教育について

－英語教育について思うこと

－現在の教育への危機感

学生への指導方針：学生の個性を伸ばす

博士課程への進学に悩む学生へ：君にはやむにやまれぬものがあるか？

博士課程後期の人材に期待する能力・研究者の現状

研究の喜びと今後の展望



第 25 回 2016 年 1 月 27 日取材・2016 年 3 月 17 日掲載

広島大学 大学院工学研究院 応用科学専攻 佐野 庸治 教授

人間至る処青山あり

現在の研究内容

研究をはじめたきっかけ

研究を継続するうえで大切なこと

研究室の特色

学生へのメッセージ・今後の展望



9-2-3. 海外の大学, 研究機関を経験した博士人材, 教員へのインタビュー
- 研究留学 Challenge 海外で研究をしたい -

第5回 2014年6月5日取材・2014年6月17日HP掲載
広島大学 大学院理学研究科 化学専攻 D3 菅原 峻さん
ドイツ ユリウス・マクシミリアン大学ヴュルツブルク



現在の研究内容は？
留学に行くまでの経緯は？
留学先での研究内容は？
留学時の語学力は？
研究留学を経ての収穫は？
これから研究留学を目指す学生へのメッセージ

第6回 2014年8月12日取材・2014年8月20日HP掲載
広島大学 大学院国際協力研究科 教育文化専攻 M2 久松 祥子さん
「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」

官民協働型の研究留学とはどのようなものですか？
ご自身の研究内容はどのようなものですか？
プログラム（トビタテ！留学 JAPAN）を知るきっかけは何でしたか？
研究留学の目的は？
研究留学の行き先は？またどのようにして決めましたか？
4つのコースの内、どのコースを選択しましたか？
願書提出から留学まではどのような流れでしたか？
官民協働型ということで、企業が出資しその後のサポートもあると聞いていますが、どのようなメリットがありますか？
語学力をつけるため、何か特別のことをされましたか？
研究留学を今後どのように生かしていこうと考えていますか？



第7回 2014年8月7日取材・2014年10月23日HP掲載

広島大学 大学院工学研究科社会基盤環境工学専攻 D2 近広 雄希さん
ポーランド ポーランド国立科学アカデミー基礎工学研
究所

現在の研究内容は？

留学に行くまでの経緯は？

留学先での研究内容は？

留学時の語学力は？

研究留学を経ての収穫は？

これから研究留学を目指す学生へのメッセージ



第8回 2014年10月10日取材・2014年12月8日HP掲載

広島大学 大学院先端物質科学研究科 量子物質科学専攻 D3 鈴木 佑太朗さん
オーストラリア グリフィス大学量子動力学センター

現在の研究内容は？

留学に行くまでの経緯は？

留学先での研究内容は？

留学先の研究環境は？

留学時の語学力は？

研究留学を経ての収穫は？

これから研究留学を目指す学生へのメッセージ



第9回 2015年1月23日取材・2015年4月15日HP掲載

広島大学 大学院国際協力研究科 教育文化専攻 M2
久松 祥子さん

バングラデシュ ジャハンギルノゴル大学、障害者支援
NGOのCDD (Centre for Disability in Development :
開発における障害センター) 及びAKK (Amra Kaj
Kory : 私たちは働く)

広島大学での唯一のトビタテプログラムの第一期生として、
トビタテプログラムに受かったのは？

4つあるコースのうち、どのコースを選ぶか迷いましたか？

留学を経ての収穫は？また今後どのようにこれを生かしてい



こうと考えているのでしょうか？

企業から、インターンシップや就職などのお話がありましたか？

第一期生のメンバーとの交流について

事前研究（二泊三日）の詳細について

どうやってプランを作るのかについて困っている人もたくさんいますが、留学プランの作成について何かアドバイスをお願いできますか？

第10回 2015年4月10日取材・2015年5月18日HP掲載

広島大学 大学院国際協力研究科 教育文化専攻 D2 隅田 姿さん
フランス ユネスコ (UNESCO 国際連合教育科学文化機関)

現在の研究内容は？

インターンシップに行くまでの経緯は？

インターンシップ先での業務と研究

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」長期インターンシップと G-echo の区別は？

インターンシップに行ったときの語学力は？

インターンシップのメリット・デメリット？

海外でインターンシップをするときの心構えや注意点

これから海外インターンシップ、研究留学を目指す学生へのメッセージ



第11回 2015年3月9日取材・2015年6月4日HP掲載

広島大学 大学院社会科学部研究科 法政システム専攻 D2 神代 貢志さん
ブラジル サンパウロ大学

研究内容はどのようなものですか？

留学に行くまでの経緯は？

留学先での研究内容は？

留学先の研究環境は？

留学時の語学力は？

研究留学を経ての収穫は？

これから研究留学を目指す人へのメッセージ



第12回 2015年7月6日取材・2015年8月31日HP掲載

広島大学特別研究員（グローバルキャリアデザインセンター） 孟 令宇さん
オーストラリア ARC CGSE（オーストラリア国立地盤研究所）

現在の研究内容は？

日本に留学し、その後オーストラリアへインターンシ
ップの経緯

インターンシップ先の研究環境

インターンシップの収穫

インターンシップで感じた日本との違い

今後の展望

研究インターンシップを目指す皆さんへのメッセージ



第13回 2015年10月28日取材・2016年2月23日HP掲載

広島大学 大学院教育学研究科 文化教育開発専攻 D3 上ヶ谷 友佑さん
韓国 教員大学

現在の研究内容は？

インターンシップに行くまでの経緯

インターンシップの収穫

これから海外インターンシップ、博士課程後期進学を
考える学生へのメッセージ



第14回 2016年1月29日取材・2016年3月25日HP掲載

広島大学大学院 総合科学研究科 総合科学専攻 D3 小出 美由紀さん
ドイツ ハンブルグ大学

研究内容はどのようなものですか？

留学に行くまでの経緯は？

留学先の環境は？

留学時の語学力は？

研究留学を経ての収穫は？

これから研究留学を目指す人へのメッセージ



9-2-4. 若手研究者の研究紹介

第1回 2015年10月7日取材・2015年11月12日HP掲載

広島大学特別研究員（グローバルキャリアデザインセンター）山田 朋範さん

「分子の可能性を追い求めて」

研究内容

今後のご自身の展望は？



第2回 2015年10月15日取材・2015年11月20日HP掲載（英文記事）

Dr. Rong Shang, Assistant Professor

Department of Chemistry, Graduate School of Science, Hiroshima University

Could you tell us about your research?

What are the potential applications of your research?

What brought you into this research field?

How has your teaching experience in Japan been so far?

Have you faced any obstacles? If so, how did you overcome them?

What is your career goal?

Message



第3回 2015年11月5日取材・2015年12月14日HP掲載

広島大学 大学院文学研究科 松本 舞 助教

「文学作品を通じて広がる世界観に魅了されて」

研究内容

メッセージ

今後の展望



第4回 2015年10月22日取材・2015年12月17日HP掲載

広島大学 大学院生物圏科学研究科 若林 香織 助教

「基礎生物学の知見を生かし、新しい水産技術の開発へ」

研究内容

研究の流れ

水産の研究者からみると異端児かもしれない

—基礎生物学を水産増養殖に応用—

今後の研究の展望



第5回 2015年12月14日取材・2016年1月25日HP掲載

山口大学 大学院医学系研究科 原 裕貴 助教

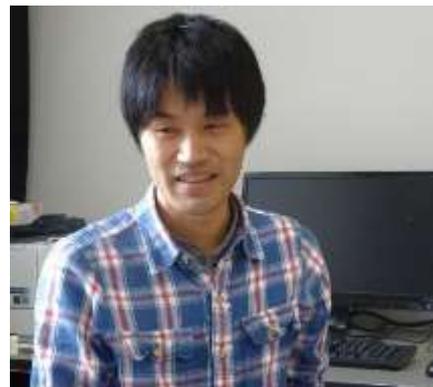
「“大きさ”の細胞生物学」

研究内容

現在の研究について

これまでの研究や分野変更について

今後の展望



第6回 2015年12月7日取材・2016年1月28日HP掲載

広島大学 大学院社会科学研究科 中川 雅央 助教

「経済学の視点から社会を見る」

研究のきっかけと内容

研究の方法について

今後の展望について



第7回 2016年1月14日取材・2016年2月12日HP掲載
広島大学特別研究員（グローバルキャリアデザインセンター）
奥 正太さん

「“走化性”の理解から始まる微生物との共生」

研究内容

- 微生物の走化性メカニズムの解明
- 基礎から応用へ
- インターンシップで得た知識を活かし、現場で使える技術の開発に取り組む



第8回 2016年1月14日取材・2016年2月12日HP掲載
広島大学 大学院理学研究科 岡部 信広 助教

「未知の物質“暗黒物質”を捉える」

現在の研究について

これまでの研究について

2016年2月17日に種子島宇宙センターから打ち上げられた衛星「ひとみ」と研究との関連について
展望



第9回 2016年1月21日取材・2016年3月25日HP掲載
広島大学 大学院生物圏科学研究科 星野 由美 助教

「卵子を知り，卵子を活かす」

研究内容について

研究の方法

海外での研究について

これからの展望



9-2-5. 特集 Career advice -Explore Your Future-

企業の研究者にも博士号をもって活躍する女性研究者がいます。ライフイベントを含めたこれまでの変遷や、研究者としてのやりがいなどをお聞きしました。

第1回 2015年6月9日取材・2015年7月24日HP掲載

株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所 部長 庄林 愛さん

ーチャンスだと思ったらその時を逃すなー

研究内容

ー低アレルギーや低カロリーのパン・お菓子の開発
業界初！！介護用食パン「らくらく食パン」の開発
企業で研究することと公的機関で研究すること
女性研究者としての思い

今後の展望 ーパンの機能性の研究

ドクターの学生に求められる能力

博士課程進学を考える学生へのメッセージ

ーチャンスの女神には前髪しかない！



第2回 2015年6月15日取材・2015年8月28日HP掲載

独立行政法人酒類総合研究所 理事 後藤 奈美さん

ー日本の酒類業界を支える研究所をめざしてー

研究内容ー「日本のワインをより美味しく」

理事としてのお仕事「日本の酒を世界に！」

研究する上で大切なこと「研究の目的を常に意識して」

23年ぶりの技術系女性職員

フランス留学ー「伝統のブランドを守るために新しい技術
の開発を行っていく」

研究継続における上で大切なことー

「母として、研究者として」

博士課程進学を考える学生にメッセージー

「広い視野と説明能力を」



第3回 2015年6月26日取材・2015年10月8日HP掲載

マツダ株式会社 技術研究所 シニア・スペシャリスト 大竹 恵子 さん

～No.1ではなく、ONLY ONEを目指す～

研究内容（修士課程から現在への至り）

博士進学へのきっかけ

大学ではなく、企業で研究を続けようと思った理由

「大学の研究」から「企業の研究」に変わることによって苦労したこと

ご自身の今後の展望

D進学を考える学生へのメッセージ



第4回 2015年7月10日取材・2015年10月16日HP掲載

日刊工業新聞社 論説委員兼編集委員 山本 佳世子 さん

～スペシャリストでゼネラリスト～

「キャリアの考え方」—理系の修士から新聞記者へ

研究内容—新しい仕事との出会いそして博士号

理系記者の仕事とメリット

博士課程進学を考える学生にメッセージ

「スペシャリストでゼネラリストに」



第5回 2015年4月24日取材・2015年11月16日HP掲載

日本ハム株式会社 中央研究所 研究員 河口 友美 さん

人の笑顔のために全ての研究はある！

学生時代から現在の研究への繋がり

修士課程修了後に、企業の研究所に就職した理由

現在の研究内容

研究を継続するために大切なこと

企業で研究することの魅力＝「商品まで昇華できる！」

食べる喜びを世界の人々にお届けする！

Dに進学している皆さんへのメッセージ



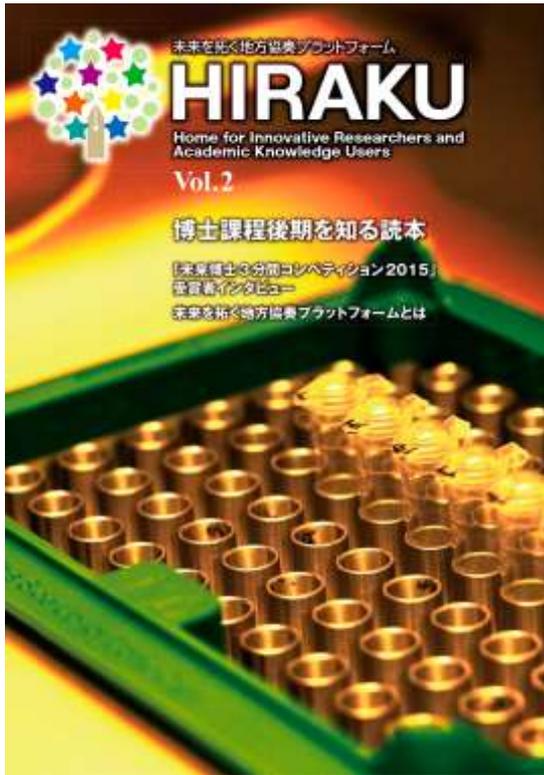
9-3. 学生むけ小冊子 HIRAKU



HIRAKU Vol.1 (平成 27 年 3 月発行)
 博士課程後期を知る読本

- ・次世代研究者インタビュー
- ・博士課程後期研究者 座談会
- ・未来を拓く地方協奏プラットフォームとは





HIRAKU Vol.2 (平成 28 年 3 月発行)
 博士課程後期を知る読本
 ・「未来博士 3 分間コンペティション 2015」
 受賞者インタビュー
 ・未来を拓く地方協奏プラットフォームとは



9-4. 学生むけ小冊子 HAKUSHI



HAKUSHI 2015年10月版

博士課程後期への進学は、あなたに与えられたかけがえのないチャンス。

- ・進学フロー
- ・研究者インタビュー
- ・学生インタビュー
- ・あなたの疑問にお答えします!!

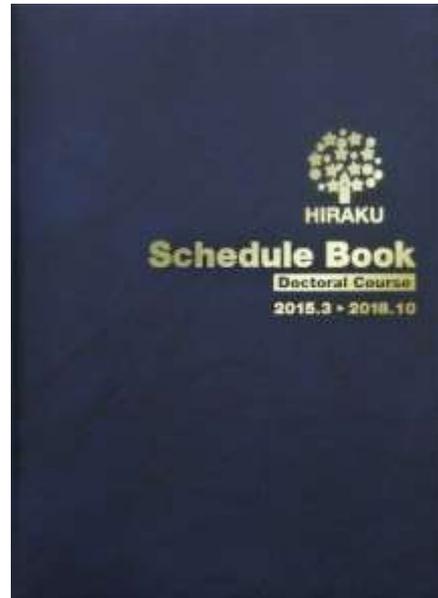


9-4. 4年手帳

博士課程後期の心得，進路についてのプランニング，大学で行われている学生支援等について掲載している。博士課程後期の時間を有意義に過ごすために必要な内容を盛り込んだ手帳である。共同実施機関、連携機関の新D1全員に配布している。

Doctoral Course Schedule Book 2015.3 ⇒ 2018.10
(平成 27 年 3 月発行)

- ・2015年3月から2018年10月までのカレンダー・スケジュール帳
- ・博士課程後期の心得
- ・博士課程後期修了後の進路
- ・博士課程後期の学生支援
- ・税金・確定申告・健康保険・年金



Doctoral Course Schedule Book 2016.3 ⇒ 2020.3
(平成 28 年 3 月発行)

- ・2016年3月から2020年3月までのカレンダー・スケジュール帳
- ・博士課程後期の心得
- ・博士課程後期修了後の進路
- ・博士課程後期の学生支援
- ・税金・確定申告・健康保険・年金



10. 若手研究人材のキャリアスタート支援

10-1. 若手研究人材ポートフォリオ HIRAKU-PF

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム（HIRAKU）」では、中国・四国地方を中心とする西日本の国公立大学、企業、公的機関等が産学官コンソーシアムを形成し、高度に複雑化した現代社会の課題解決を担う博士人材の輩出を目指している。その基幹 IT システム「若手研究者ポートフォリオ（HIRAKU-PF）」は、いろいろな「あつまる」・「つながる」・「まじわる」機能を通じて、博士課程学生を含む若手研究者が社会とのつながりを深め、新たな出会いや気づきの中で自らの未来を拓くことができるように構築している。

（1）若手研究者も企業も集まる

HIRAKU に参画する多くの国公立大学の博士課程学生・若手研究者、幅広い企業・公的機関が参加します。様々な情報提供が行われるだけでなく、全ての参加者にアカウントが付与され、HIRAKU-PF 内で活動することができる。

（2）インターンシップで まじわる

博士課程学生・若手研究者向けのインターンシップの情報が集約され閲覧できるだけでなく、応募や必要書類のアップロードも HIRAKU-PF 上から行うことができる。もちろん、HIRAKU-PF 上から企業／公的機関へ直接質問も可能である。若手研究者からの提案が新しいインターンシップや共同研究につながる流れも期待される。

（3）キャリア相談で未来を HIRAKU

キャリア相談やインターンシップ等の相談も、HIRAKU-PF を通じて可能である。また、各種支援情報も提供される。

（4）ポートフォリオで まじわる

全ての参加者にポータルページが用意され、研究内容・実績等を HIRAKU-PF 内だけでなく世界中に PR できる（閲覧可否設定可能）。学会発表資料等のアップロードの他、動画によるアピールも可能。HIRAKU-PF 内で参加者へ即時に連絡をとることも可能である。

（5）交流機能で つながる・未来を HIRAKU

参加者同士の連絡機能はもちろん、掲示板機能も用意。博士課程学生・若手研究者がスレッドを立て、若手研究者主体のイベント運営や情報交換などに利用することも可能である。

（6）能力開発で未来を HIRAKU

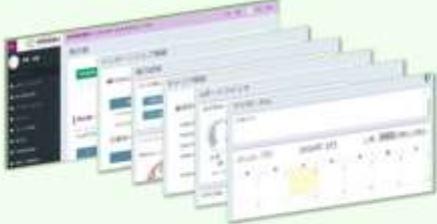
社会の多様な場で能力を発揮し、グローバルに活躍できる能力を身につけるために有益なセミナー

一や講座情報を提供する。また、英国等でも導入されている能力の自己診断機能を通じて、自身の強みと弱みを把握し、成長することができる。

若手研究者ポートフォリオ (HIRAKU-PF) とは

若手研究者ポートフォリオ HIRAKU-PF は、未来を拓く地方協奏プラットフォーム (HIRAKU) の展開を支える基幹ITシステムとして、2016年3月に運用を開始しました。

博士課程学生やポストドクター等若手研究者向けの能力開発、獲得した能力の指標化、若手研究者や研究シーズの検索機能などを通して、次世代のイノベーションを担う人材を支援します。さらに、所属や分野を超えたつながりを形成し、人材や技術の活発かつ効果的な流動を促します。



[HIRAKU-PF 利用登録のご案内]

1. まずは <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku> へアクセス！
2. 「HIRAKU-PF」のタブをクリック！
3. 「ユーザー登録」からメールアドレスで仮登録！*
4. メールに添付された本登録用URLへアクセスしてユーザー登録！
5. メールアドレスと登録したパスワードでログイン！

*ここから登録できるのは、以下のHIRAKU連携機関に所属し、所属機関のドメインの入ったメールアドレスを利用している者に限り、
 広島大学、山口大学、徳島大学、岡山大学、鳥取大学、島根大学、
 愛媛大学、香川大学、高知大学、徳島教育大学、経国大学、
 国立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学 (2016年3月現在)

登録できない場合は、下記の場合、合わせ先へご連絡下さい。

HIRAKU 連携機関
 TEL : 082-434-2038 FAX : hiraku@hiroshima-u.ac.jp
 URL : <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/>

博士課程学生・若手研究者の皆様へ

あつまる まじわる つながる
 はじまる！

HIRAKU-PF

若手研究者ポートフォリオ (HIRAKU-PF) 2016年3月 運用開始

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku>



HIRAKU
 未来を拓く地方協奏プラットフォーム
 Hiroshima University
 Institute for Regional Promotion and
 Innovation Strategy Center

2016年3月発行

10-2. 博士キャリア相談室

キャリアパスに関して、大学院生の指導教員も交えた面接の機会を設け、大学院生(の希望や不安)と指導教員の意識の共有を図っている。相談者の多くは職種については多くは研究開発職という強いイメージを持っているが、自身の専門分野がどのような業種で活かされるかについては認識不足であることが多い。そこで履歴書や研究経歴書の書き方指導から入り、相談員が相談者の専門分野を把握すること、それにあった提案をする、というレベルからすすめている。そのことは、相談者が自身の強みを認識することにつながっており、自らを探す動機付けとなっている。

相談日時： 随時(但し、事前の予約が必要)

場所： グローバルキャリアデザインセンター若手研究人材養成(広島大学学生プラザ 2F)

予約・問合せ先： グローバルキャリアデザインセンター若手研究人材養成

E-MAIL wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

TEL 082-424-4563

URL <http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/>

※相談希望者は、氏名、所属、職名または学年、連絡先、簡単な相談内容、希望日時(できるだけ複数)を明記して、メールで連絡する。

平成26年度11月以降相談者延べ数110名

平成27年度相談者延べ数 213名

10-3. 日本学術振興会（JSPS）特別研究員説明会

JSPS担当者による特別研究員制度の説明会を徳島大学常三島キャンパスで開催し、徳島大学蔵本キャンパス、広島大学、山口大学をTV会議システムでつなぎ、各制度に関する説明会を実施した。三大学に所属する多数の大学院生・研究者が、普段は行えないJSPS担当者との質疑応答を直接行うことができる貴重な機会となった。その後の各会場では、採用者の経験談などを元に、質疑応答を行った。受入相手へのコンタクトの取り方など、ノウハウを共有すると共に、若手研究者等が自身のキャリアを具体的に考える場となった。

日時:2016年3月24日(木) 14:30~17:15

会場: 主会場 徳島大学 常三島キャンパス 共通教育6号館2階 201(総合科学部地区)
 同時配信 徳島大学 蔵本キャンパス 総合研究棟2階 スキルス・ラボ8
 広島大学 東広島キャンパス 本部棟2階第一会議室
 山口大学 吉田キャンパス メディア教育棟1階講義室

内容:

○第1部(14時30分~15時55分)

(徳島大学常三島会場以外はTV会議中継)

特別研究員制度の概要説明

講師:独立行政法人日本学術振興会研究者養成課・
 海外派遣事業課 各担当者

- ・特別研究員 (PD・DC・RPD)
- ・海外特別研究員
- ・海外特別研究員-RRA

質疑応答

○第2部:

各会場での特別研究員採用経験者による体験談、 質疑応答

対象:特別研究員に興味のある、大学院生、研究員、教員等



1 1. 外部評価

1 1-1. 外部評価委員会

若手研究人材養成担当では、外部の関連組織・有識者の方に外部評価委員を委嘱し、本システムの外部評価を受けている。外部の方の意見を真摯に受け止め、より良い取組みとするよう努めている。

11-1-1. 第1回外部評価委員会

日 時:平成 27 年 7 月 22 日(水)10:00~12:00

場 所:シェラトンホテル広島 4F 会議室

外部評価委員(五十音順)

広島県商工労働局 イノベーション推進部長	大石 知広
三菱レイヨン株式会社大竹研究所 主席研究員	岡本 英子
近畿大学工学部教授、次世代基盤技術研究所 3D 造形技術研究センター長	京極 秀樹
経済産業省中国経済産業局 総務企画部長	小島 暢夫
公益財団法人とくしま産業振興機構 理事長	佐野 正隆
野村証券株式会社 金融公共公益法人部長	太野 敦幸
地方独立行政法人山口県産業技術センター イノベーション推進センター医療県連推進チーム プロジェクトプロデューサー	安田 研一

総合講評

全体的には、非常によくできているプログラムという評価である。

(1) プラットフォームについて

実際的にどのような機能なのかを、P D C A を回し、きちんと評価するシステムとし、今後はプログラムのなかにフィードバックしていく形にするべきである。

(2) 企業向け情報発信について

このプログラムを本当に中身のあるものにするには、企業側の受け入れが問題なので、現在実施していることを、もっと企業に情報提供すべきだろう。広報用パンフレットを作成しているが、これは学生向けなので、企業向けにも考えるべきである。

長期インターンシップも企業の理解あってこそなので、以前より理解は深まっているようだが、企業への広報に努めれば、企業の理解、協力がより期待できると思われる。

(3) 地方協奏とイノベーション創出について

もう少し地元を意識した部分を表に出した方が良い。

現在の内容でイノベーションと言える内容になっているか？本来の意味でイノベーションと言

える中身に今後育ててほしい。

(4) テニユアトラック教員

テニユアの問題というのは非常に難しいところがあり、特にクロスアポイントメントのところ
が、実際に企業の理解、協力が得られるかが問題である。

テニユアの問題というのは、大学にとっては非常に難しい問題であろうが、本来のテニユアト
ラックの意味をきちんと理解して、このテニユアトラックのプログラムを、充実させてもらいた
い。

基本的には、大変良くできているプログラムなので、本来の理想に近づけるようにし、かつ実
質的に博士人材を育てるプログラムにしてほしい。

未来を拓く地方協奏プラットフォーム

平成 26・27 年度（2014・2015 年度）成果報告書

発行年月：平成 28 年 3 月

編集・発行：「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」運営協議会事務局

広島大学グローバルキャリアデザインセンター

若手研究人材養成担当

所在地：〒739-8514 東広島市鏡山一丁目 7 番 1 号（学生プラザ 2F）

TEL：082-424-2058

FAX：082-424-4565

（無断複写・転載を禁じます。）



未来を拓く地方協奏プラットフォーム

HIRAKU

Home for Innovative Researchers and
Academic Knowledge Users